令和４年度介護テクノロジー導入促進プロジェクト　～未来の介護をクリエイト～



令和４年度　介護テクノロジー紹介シート

2022 年 8 月 30 日発行
2022 年 10 月 5 日更新※1 追加
一般社団法人日本ノーリフト協会

分類	企業名	製品名	No.
1 見守り 支援	シーホネンス株式会社	ベッド内臓型離床センサー「i サポート」	1-1
	シーホネンス株式会社	見守り介護ロボット「ａａｍｓ」	1-2
	株式会社トレイル	うららか GPS ウォーク　トラッキモ GPS	1-3
	株式会社マクニカ	AttentiveConnect（アテンティブ　コネクト）	1-4
	株式会社アルコ・イーエックス	ペイシェントウォッチャープラス	1-5
	有限会社システムプラネット	次世代予想型見守りシステム「ネオスケア」	1-6
	Tellus You Care 合同会社	Tellus You Care 合同会社	1-7
	日本精密測器株式会社	プライバシー配慮型　見守り装置　ＮＬ-5	1-8
	有限会社システムプラネット※1	aams.介護	1-9
2 移乗 支援	シーホネンス株式会社	サビナⅡEE	2-1
	シーホネンス株式会社	バイキング M	2-2
	株式会社オカムラ	据置型リフト　モバイルフレックス２P	2-3
	アビリティーズ・ケアネット株式会社	ささえ手	2-4
	シーマン株式会社	テイクオフベルト	2-5
	株式会社ミクニライフ＆オート	電動介護リフト　ミクニマイテイエースⅡ	2-6
	株式会社ジェイテクト	Ｊ-ＰＡＳ　ｆｌｅａｉｒｙ	2-7
	マッスル株式会社	ＲＯＢＯＨＥＬＰＥＲ　ＳＡＳＫＥ	2-8
	株式会社いうら	ＥＬ-580 【移動式リフト】	2-9
	アイ・ソネックス株式会社	スカイリフトＳＬ-2018Ｒ	2-10
	パシフィックサプライ株式会社	スマート 150	2-11
	パシフィックサプライ株式会社	ムーバー205	2-12
	株式会社タイカ	スマイルシート	2-13
	フランスベッド株式会社※1	離床支援　マルチポジションベッド	2-14
	株式会社帝健※1	ラクラックスシリーズ	2-15
3 移動 支援	RT.ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカーＲＴ.2	3-1
	シーマン株式会社	テイクオフ（簡易スタンディングリフト）	3-2
4 入浴 支援	株式会社ハイレックスコーポレーション	バスアシスト	4-1
	株式会社いうら	ＬＳ-500【リフト付シャワーキャリー】	4-2
	株式会社アイン	ナノミストバス・キャリータイプ	4-3
	株式会社ワクレア	ミラバス	4-4
	株式会社ワクレア	どこでもミラバス	4-5
	株式会社アマノ	ニューセレクトバス　ヌクティ	4-6
5 排泄 支援	トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社	排泄予想デバイスＤＦｒｅｅ	5-1
	株式会社アム	水洗式ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙﾄｲﾚ「流せるﾎﾟｰﾀくん３号」洗浄便座付き	5-2
	パシフィックサプライ株式会社	クイックレイザー2	5-3
	株式会社がまかつ	SATOILET（サットイレ）	5-4

分類	企業名	製品名	No.
6 食事 支援	株式会社アペックス西日本	とろみ自動調理ｻｰﾊﾞｰ（APEX-30SV）	6-1
7 リハビリ 支援	シーホネンス株式会社	フリースパン	7-1
	アビリティーズ・ケアネット株式会社	オミビスタ・ビスタ３	7-2
	株式会社早稲田エルダリーヘルス事業団	歩行解析デバイスＡＹＵＭＩ　ＥＹＥ	7-3
	株式会社ワクレア	コラバニィリストバンド	7-4
	株式会社トータルブレインケア	脳体力トレーナーCogEvo	7-5
	WALK-MATE LAB 株式会社	歩行分析計 WM　GAIT　CHECKER　Ｐｒｏ	7-6
	株式会社トータルブレインケア※1	TANO（TANO　CHACK）	7-7
8 介護 記録等	株式会社ケアコネクトジャパン	ＣＡＲＥＫＡＲＴＥ、ハナスト	8-1
	ＳＯＭＰＯケア株式会社	SOMPO ケアレコード	8-2
	ＳＯＭＰＯケア株式会社	介護ＲＯＰ（仮称）	8-3
	有限会社システムプラネット	楽々ケアクラウド	8-4
9 介護 業務 支援	ＳＯＭＰＯケア株式会社	Ａｘｉｓｔ Ｘ（アクシストエックス）	9-1
	神戸デジタル・ラボ	ﾏｸｾﾙ　温度ﾊﾟｯﾁｾﾝｻ/温度加速度検証ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ	9-2
	株式会社 HCI	配膳ロボット HolaBot	9-3
	株式会社 HCI	配膳ロボット KettyBot	9-4
	株式会社 HCI	配膳ロボット BellaBot	9-5
	株式会社 HCI	お掃除ロボット PuduCC1	9-6
10 その他	シーマン株式会社	ﾌﾛｰﾎﾞｰﾄﾞｵｰﾊﾞﾙ XS ｻｲｽﾞ	10-1
	シーマン株式会社	ポジショニングシーツ	10-2
	シーマン株式会社	オプティマルエバックシート	10-3
	株式会社タイカ	ウェルピーHC	10-4
	プロジェクト　イプシロン	イプシロン　システム	10-5
	有限会社システムプラネット	服薬支援システム「服やっくん」	10-6
	株式会社エレクトロスイスジャパン	コミュニケーション支援、文書化支援、 人材育成支援	10-7
	株式会社平プロモート	kupu（クプ）	10-8
	株式会社 QuadLab	NO LIFT ASSESSMENT APP （ノーリフトアセスメントアプリ）	10-9

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　シーホネンス株式会社

企業 URL　：　http://www.seahonence.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ベッドからの転倒、転落のリスクのある利用者様に対しての頻回な訪室が必要なこと	に対し、	ベッド上の利用者様の動きをナースコールで通知することができ、訪室回数を減らす

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　ベッド内蔵型離床センサー「i サポート」

製品／サービスの URL：http://www.seahonence.co.jp/hp/sensor/index.html



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

ベッドをお使いの方の起き上がり・離床等の状態を検知してナースコールに通知するベッド内蔵型の離床センサーです。
「i サポート」を適切に利用することにより、より安全な療養環境の実現と、介護者の負担軽減が期待できます。

想定価格：

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

離床センサーは起き上がりおよび離床を把握するための補助機器であり、安全を保証するものではありません。特定の状況によって誤通知、不通知の可能性があります。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： シーホネンス株式会社

企業 URL ： http://www.seahonence.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

ベッド上の利用者様の状態確認のために頻回な訪室が必要なこと	に対し、	離れた場所でも確認ができ、少ない人員でも管理

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： 見守り介護ロボット「aams」

製品／サービスの URL：https://www.youtube.com/watch?v=f5spKgHtUvc&t=40s

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

「aams」はマットレスの下に設置したセンサーにより、体動（寝返り、呼吸、心拍など）を測定し、ご利用者の状態をパソコンや携帯端末でリアルタイムに確認することができます。
「aams」を活用することでスタッフの業務負担軽減やケアプランの改善などにお役立ていただけます。
想定価格：

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） □ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社トレイル

企業 URL ： https://www.uraraca.net/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 ○送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

○見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

認知症の方が、離設時やデイサービス利用後の帰宅時の徘徊が心配な時	に対し、	GPS 機器で尊厳を守りつつ安全・確実に見守りを	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減 ○介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： うららか GPS ウォーク トラッキモ GPS

製品／サービスの URL：https://www.uraraca.net/rehabili-shoes/gps-walk.html

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



https://www.youtube.com/watch?v=rgErPcj5M-E

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

認知症等による徘徊行動等を見守る為の GPS 機器をご利用者様の尊厳を守りつつ、安心・確実に保持していただけるよう GPS 機器内蔵可能靴

想定価格：8000～10000 円+税（靴）23500 円+税（GPS 機器）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ○□被介護者（施設ケア） ○□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
○□要支援 1、2 ○□要介護 1 ○□要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
○□自立 ○□ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
○□自立 ○□ランク Ⅰ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

特になし

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： ㈱マクニカ

企業 URL ： 株式会社マクニカ（macnica.co.jp） （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

■見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

1,夜間の定期訪室 2,転倒事故 3,急な健康状態の変化、看取り対応 4,利用者にあわせた介護プラン作成	に対し、	1,訪室回数の低減 2,離床予知による転倒事故低減 3,利用者の健康状態変化の早期発見、対応 4,利用者毎の介護プラン作成のもとになるデータ提

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者の身体的負担軽減 ■介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
■被介護者の安全確保 ■被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

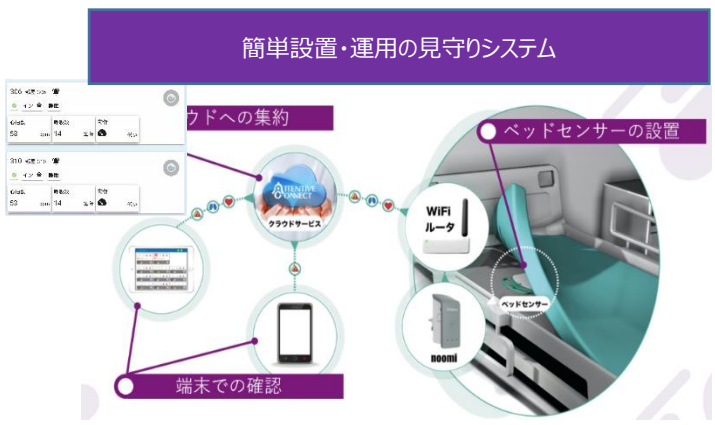
製品名／サービス名： AttentiveConnect（アテンティブ コネクト）

製品／サービスの URL：次世代見守りシステム AttentiveConnect - 医療・介護事業 - マクニカ（macnica.co.jp）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

動画サイト：紹介動画 - マクニカ（macnica.co.jp）

Buddycom、介護現場の業務効率向上を目指し、見守りシステム「AttentiveConnect」と連携





6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

ベッドセンサー

- 誰でも簡単設置、簡単操作　：　ベットマットの下にセットし、電源コンセントを差すだけで動作開始。
- 精度の高いバイタル情報：離床予測（転倒予防）、睡眠状態（睡眠時間、眠りの深さ、無呼吸回数）、呼吸数、心拍数。他のセンサーと組み合わせることで血圧、体温データも取得可能。

クラウド管理ソフト

- ブラウザ型ダッシュボード：誰でも、いつでも、どこからでも利用者の状況をリアルタイムで確認。
- インカム(Buddycom 社)連携：素早く、確実に音声でアラートを通知、共有。

-想定価格：ベッドセンサー本体標準価格：¥30,000/台　クラウド使用料：月額¥2,500/ベッドセンサー

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

-使用環境においてベッドセンサーの接続には Wifi（無線 LAN）が必須となります。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。



インカム使用事例：ツクイ様の導入事例 | Buddycom（バディコム）

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社アルコ・イーエックス

企業 URL　：　https://www.alco-ex.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☐居室　☐トイレ　☐個浴　☐個浴脱衣所　☐特殊浴槽　☐特殊浴槽脱衣所
☐食堂　☐多目的ホール（共有リビングスペース）　☐看護・介護ステーション　☐リハビリ室
☐会議室　☐事務室　☐送迎車　☐その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

☐見守り支援　☐移乗支援　☐移動支援　☐入浴支援　☐排泄支援　☐食事支援
☐リハビリ支援　☐介護記録等　☐介護業務支援　☐居室環境等管理支援　☐ヘルスケア
☐その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

人手不足による介護者の身体的負担や、何が起きているかわからない不安や精神的負担	に対し、	カメラでご利用者様の様子を可視化する事で介護者の負担や不安を軽減

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☐介護者の身体的負担軽減　☐介護者の精神的負担軽減　☐介護スタッフ間の連携強化
☐被介護者の安全確保　☐被介護者の QOL 向上　☐被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☐人材育成・定着促進　☐周辺業務の効率化・省力化　☐業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

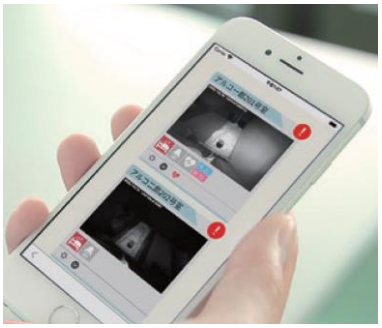
製品名／サービス名：　ペイシェントウォッチャープラス

製品／サービスの URL：　https://www.alco-ex.jp/product_patientwatcher.html

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください







動画 URL：https://www.youtube.com/watch?v=lyiD20BxPIQ

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

ペイシェントウォッチャープラスは赤外線カメラを使用した見守りシステムで、人の目に代わってご利用者様を 24 時間静かに見守り続けます。インターネット経由で離れた場所からでもいつでも見たいときにご利用者様の様子を確認いただけます。また、カメラで撮影した画像を解析しご利用者様の動きを音とアイコンでお知らせします。

想定価格：本体価格 272,800 円（税込）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

特に転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方などに有効です。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

ご使用いただくうえでインターネット環境が必要です。本体は施設内の Wi-Fi で動く「Wi-Fi モデル」と、ソフトバンク株式会社の通信端末搭載の「SIM モデル」があり、どちらかの通信状態が良好である必要があります。また、受信機となるパソコン・タブレット・スマートホンもインターネットに繋がっている必要があります。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）






神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 有限会社システムプラネット

企業 URL ： https://ict.sysplanet.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

☑見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

被介護者	に対し、	見守りカメラで様々な危険動作の予兆を、高精度で検知し、居室の状況を確認	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減 ☑介護者の精神的負担軽減 ☑介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保 ☑被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進 ☑周辺業務の効率化・省力化 ☑業務全体のマネージメント向上

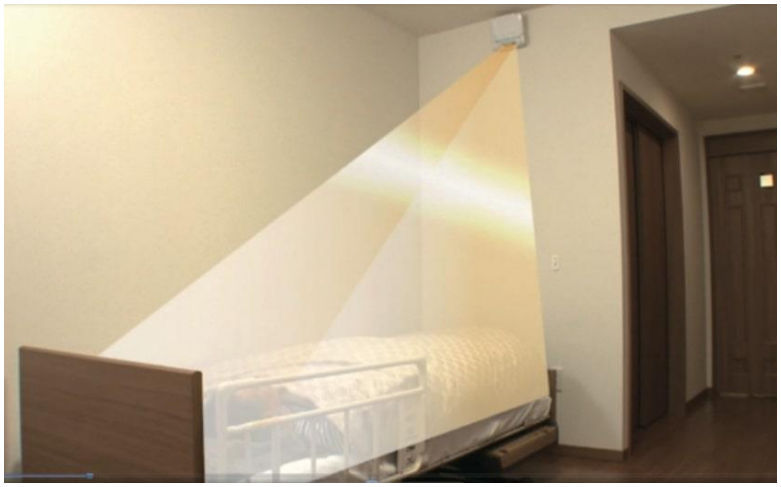
5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： 次世代予想型見守りシステム「ネオスケア」

製品／サービスの URL：https://neoscare.noritsu-precision.com/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://youtu.be/GqxSNJjhGec



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

パソコンやモバイル端末とアプリケーションを用い、被介護者の居室の見守りカメラで様々な危険動作の予兆を、高精度で検知し、介護者のモバイル端末やパソコンから居室の状況を確認し、被介護者の介助の効率化が出来ます。

想定価格：45.8 万円～

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
☐リハビリ利用者（集団）☐リハビリ利用者（個別）☐管理者（スタッフ管理）☐管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

☐想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
☐被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
☐要支援 1、2 ☐要介護 1 ☐要介護 2 ☐要介護 3 ☐要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
☐自立 ☐ランク J（生活自立） ☐ランク A（準寝たきり）
☐ランク B（寝たきり／座位保つ） ☐ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
☐自立 ☐ランク Ⅰ ☐ランク Ⅱ（a・b） ☐ランク Ⅲ（a・b） ☐ランク Ⅳ ☐ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

ベッドサイズ：横幅 90～100cm 縦幅 210 以下 高さ 30cm～50cm
Wi-Fi 環境必要

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　Tellus You Care 合同会社

企業 URL　：　https://www.tellusyoucare.com/ja/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

✓居室　✓トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

✓見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

介護職員、内部のケアマネ、施設長	に対し、	入居者の生活リズムの把握、自立支援の対策効果の測定、ケアプラン立案のための情報提供

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
✓被介護者の安全確保　✓被介護者の QOL 向上　✓被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　Tellus You Care 合同会社

製品／サービスの URL：　https://www.tellusyoucare.com/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

製品事例紹介リンク：　https://hubs.ly/Q01kx8ts0







6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

Tellus は、24 時間 365 日プライバシーを保ちながら、ご入居者の心拍・呼吸・睡眠などの生活リズムを把握するとともに、転倒検知機能を搭載することでお部屋の中での安心安全な環境を提供します。
1 週間の生活リズムをスポットライトレポートにわかりやすいようにまとめております。ボタン 1 つで簡単に閲覧・印刷が可能ですので、ご家族への状況をお伝えしたり、外部のケアマネや医師への共有にも活用して頂いてます。
転倒の予防から、万が一、危険な状況が起きてしまった時までトータルソリューションを提供できるのが Tellus の強みです。

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

✓介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）✓管理者（スタッフ管理）✓管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
✓要支援 1、2 ✓要介護 1 ✓要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
✓自立 ✓ランク J（生活自立） ✓ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
✓自立 ✓ランク Ⅰ ✓ランク Ⅱ（a・b） ✓ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

屋内で歩くことができる方の方が、利用効果は高いですが、それぞれの介護レベルに応じたソリューションがございます。ぜひご相談ください。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

本サービスは、主に居室またはトイレに設置することが可能です。
1 部屋に複数人が居住されているお部屋にはご利用はできません。
センサーは、センサーの前に障害物がある場合は、通常のセンシングが行えない場合があります。
1 つのセンサーにつき 1 つの電源が必要になります。
本センサーに利用しているミリ波レーダーは、ペースメーカーや人体に影響のないよう設計されておりますので、安心してご利用ください。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

施設での設置の様子です。
デザインがとてもシンプルでお部屋に馴染みやすいので、ご家族にもご好評頂いてます。
また、1 台で生活リズムや、心拍呼吸などもモニタリングできるのも特徴です。
コロナの影響でなかなか部屋の外に出られない入居者の離床を促す施策を続けてもらい、Tellus でその効果を測り、入居者の離床時間が増えた事例もございます。



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 日本精密測器株式会社

企業 URL ： http://www.nissei-kk.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

従来の離床センサー(マットセンサー等)が検出漏れと誤報で不要な居室訪問を増やし、介護双方に疲弊と苦痛を招いたの に対し、低価格で非接触に離床起床を確実に検知し、必要時はプライバシーに配慮した画像確認できることで不要な居室訪問をなく することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： プライバシー配慮型 見守り装置 NL-5

製品／サービスの URL： 開発中につきまだありません

アイコン表示と超低解像度でプライバシーに配慮しながら、起床・離床などの行動を安全・確実に把握、離れた場所から 1 つの iPad で 12 床まで見守りが可能です。





6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

・「手軽に」（マットセンサー並みのお手軽価格）
・「簡単に」（本体と iPad を無線接続。簡単に設置撤去可能。LAN 回線必要なし）
・「確実に」（超低解像度画像でプライバシーに配慮しながら確実に「離床」「起床」など 5 種類の動きを検知）
をコンセプトとして開発中の見守り装置です。ベッド頭上または足元の高さ約 1.7m に設置。顔識別が困難な低解像度画像に対して「ゾーン」として検出範囲を設定し、ゾーンに対する人の動きから「起床」「離床」「離室」「就寝」「入床」を判定して iPad にアイコンを表示します。「離床」「離室」時はアラームを鳴らし、介護者はライブモードで居室の様子を確認した上で、必要な時だけ訪問できます。超低解像度なのでデータ量が少なく Bluetooth でも通信可能。
寸法：幅 100×高さ 100×奥行 22.5mm、質量：約 120g、視野角：対角 120 度、温度湿度測定機能付
想定価格：無線式マットセンサー並みの価格（本体のみ、iPad は別売）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・無線通信ではコンクリートやスチール製のドアや壁を通すことはできません。コンクリート構造の建物や大規模施設向けには別途、開発中のブリッジ装置(BLE/WiFi または BLE/LTE)が必要になります。
・Bluetooth Ver5 は見通し 80m 以上の距離で通信可能で、木製ドアは通り抜けますが、周辺の電波環境によって通信しにくい場合があります。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 有限会社システムプラネット

企業 URL ： http://www.biosilver.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

○見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

夜間の見守りや看取りの際の 現場職員様の不安に	に対し、	リアルタイムの生体情報（心拍・呼吸）睡眠の評価 を 3 段階で遠隔でモニタリング出来る事により ケアの向上・精神的負担の軽減を

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 ○介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： aams.介護

製品／サービスの URL： http://www.biosilver.co.jp/aams/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

心拍、呼吸、体動、離着床、睡眠の状態などを離れた場所からリアルタイムで見守ることができる、マット型の見守り支援介護ロボットです。他社製品の介護記録・カメラ・インカムとの連動も可能になります。

想定価格：オープン価格（参考価格：¥178,000（税込¥195,800）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） □ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・事業所内での Wi-Fi 環境が必須になります。
・マット部は電気、電子部品を一切使用しないエアー式の安全設計です。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：シーホネンス株式会社

企業 URL　：http://www.seahonence.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室　■トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
■食堂　■多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　■リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　■移乗支援　■移動支援　□入浴支援　■排泄支援　□食事支援
■リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ベッド端座位⇔車イス移乗、車椅子⇔トイレ移乗での抱上げ介助、立位訓練時の患者の転倒、座位保持訓練での患者の転落

に対し、

抱上げずに移乗可能となり身体的負担の軽減。
立位訓練時の転倒リスク軽減、座位保持訓練の転落リスクを軽減

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者の身体的負担軽減　■介護者の精神的負担軽減　■介護スタッフ間の連携強化
■被介護者の安全確保　■被介護者の QOL 向上　■被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
■人材育成・定着促進　■周辺業務の効率化・省力化　■業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

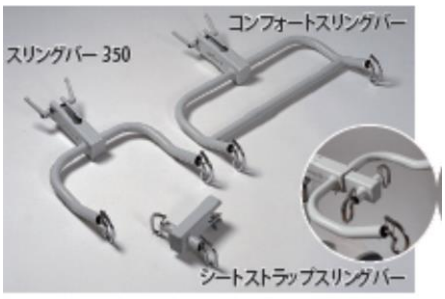
製品名／サービス名：　サビナⅡ　EE

製品／サービスの URL：http://www.seahonence.co.jp/hp/lift/Sabina_characteristic.html











6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

移乗・立上り・トイレ移乗でサポート可能です。3 種類のスリングバー、4 種類のスリングの組合せで色々と対応可能。
ベッド端座位⇔車椅子、車椅子⇔トイレでの移乗介助、ベッド端座位・車椅子からの立ち上がり補助と座位保持補助。
ハンガーとスリングの組合せで、サビナしか出来ないサポートが可能です。
想定価格：オープン価格（スリング・ハンガーの種類が豊富な為、都度お見積もりを実施しております。）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア） ■介護者（在宅ケア） ■被介護者（施設ケア） ■被介護者（在宅ケア）
■リハビリ利用者（集団） ■リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない･検討中 → ⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a･b） □ランクⅢ（a･b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面･環境面含む）･禁忌及び注意事項

･脱衣室、浴室での使用不可
･利用者は、足底接地が可能な人
･低床タイプのベッドでは使用する事が出来ません。(ベッド下スペースが 11 ㎝以上必要)

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：シーホネンス株式会社

企業 URL　：http://www.seahonence.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室　■トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
■食堂　■多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　■リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　■移乗支援　■移動支援　□入浴支援　■排泄支援　□食事支援
■リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ベッド⇔車イス移乗、車椅子⇔トイレ移乗での抱上げ介助、ベッド上で体位変換、位置移動、歩行訓練時の患者の転倒、座位保持訓練での患

に対し、

抱上げずに移乗可能となり身体的負担の軽減。ベッド上移動時も身体的負担軽減、歩行訓練時の転倒リスク軽減、座位保持訓練の転落リスクを軽減

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■会護者の身体的負担軽減　■介護者の精神的負担軽減　■介護スタッフ間の連携強化
■被介護者の安全確保　■被介護者の QOL 向上　■被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
■人材育成・定着促進　■周辺業務の効率化・省力化　■業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　バイキング M

製品／サービスの URL：http://www.seahonence.co.jp/hp/lift/Viking_characteristic.html





6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

最大荷重 205Kg、アーム昇降高さ最大 179 ㎝で、ベッドとの相性で、通常ベース・低床ベースの選択が可能です。
居室・トイレ・リハビリ室・食堂他様々な場所とシーンで活用可能です。
ハンガーの種類が豊富で、リフト姿勢が色々と選択可能。体重計・水平移乗・歩行訓練にも使用可能です。
想定価格：オープン価格（スリング・ハンガーの種類が豊富な為、都度お見積もりを実施しております。）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア） ■介護者（在宅ケア） ■被介護者（施設ケア） ■被介護者（在宅ケア）
■リハビリ利用者（集団） ■リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない･検討中 → ⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） □ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a･b） □ランクⅢ（a･b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面･環境面含む）･禁忌及び注意事項

･脱衣室、浴室での使用不可
･ベッドの種類により、通常ベースと低床ベースの選択が必要な為、ベッド下のスペースの確認が必要。
･未使用の時間帯は常にコンセントを差して、充電頂く必要があります。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社オカムラ

企業 URL　：　https://www.okamura.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室　□トイレ　□個浴　☑個浴脱衣所　□特殊浴槽　☑特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　☑移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
☑リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

移乗時の転倒リスクや腰痛問題（労災）、密着による感染リスク	に対し、	双方安全に身体負担の軽減、長期雇用及び感染予防	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　据置型リフト　モバイルフレックス２ P

製品／サービスの URL：　https://gmd.okamura.jp/iportal/cv.do?c=27557780000&pg=7&v=OKM05

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

モバイルフレックス 2P は、フレームの幅調整(2m～3m)とガススプリング機構による高さ調整(1.8m～2.5m)が可能で、ホール付き(ロック機構あり)なので、お部屋間の移動が出来ます。

機器の導入時に関しては、時間もコストもかかります。 オカムラは、 ・導入前 ・導入時の研修と、 ・導入後のフォローアップに重点をおいて対応させて頂きます。

導入後、1 年を目途に、次年度の新人スタッフにリフトの使い方、スリングシートの着脱ポイントや選定方法が教えられる様に、フォローアップさせて頂きますので、安心して何でもご相談下さい。 想定金額：￥1,200,000-

※レンタル契約も可能です。（リース契約とは違い、無償メンテナンス付きです）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） ☑リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・浴室等の水場での使用は不可。脱衣室は使用可です。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

体験導入ワークショップ（機器貸出）　～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　アビリティーズ・ケアネット株式会社　阪神営業所

企業 URL　：　https://www.abilities.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※　A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室　■トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
■食堂　■多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　■リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　■移乗支援　■移動支援　□入浴支援　■排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ベッドや便器移乗の際抱え上げ介助での転倒リスクや双方の身体的負担が増大する事。	に対し、	抱え上げずに立ち上がれ、立位保持の安定や転倒及び身体負担のリスク低減。

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者の身体的負担軽減　■介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
■被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　ささえ手

製品／サービスの URL：　https://www.abilities.jp/fukushi_kaigo_kiki/fukusiyougu/idouyoulift/703100　（ささえ手）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



https://www.abilities.jp/fukushi_kaigo_kiki/fukusiyougu/idouyoulift/703100

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

・ベッド、車いす、トイレなどへの移乗がスリングシートを使わず、容易に行えます。
・お尻を持ち上げた姿勢を維持でき、下半身部分の脱衣に最適です。

想定価格：348,000 円(非課税)、自費レンタル価格:14,000 円/月(非課税)

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア） ■介護者（在宅ケア） ■被介護者（施設ケア） ■被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 ■要介護 1 ■要介護 2 ■要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
■ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

ささえがあれば立位・座位保持できる方。付属の専用スリングシートや補助ベルトを使用することで、対象となる利用者は広がる。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

寝たきりの方など、脚の支持が全く出来ない方は利用不可。段差があると利用できない場合がある。カーペットなど床面の素材によっては使用できない場合がある。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： シーマン株式会社

企業 URL ： https://www.sheen-man.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室 ○トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ○リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 ○移乗支援 ○移動支援 □入浴支援 ○排泄支援 □食事支援
○リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 ○居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

座位姿勢、立位姿勢が取れるが体幹保持が不安定な人	に対し、	介助者はテイクオフベルトのストラップをつかんで支援することで、被介助者のズボンやおむつをつかむことなく支援

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 ○介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保 ○被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： テイクオフベルト

製品／サービスの URL：https://www.sheen-man.co.jp/product-cat05/takeoffbelt/

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



https://www.youtube.com/watch?v=TJvZvl_AvjM

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

被介助者がテイクオフベルトを装着することで、歩行訓練時に被介助者のズボンやおむつをつかむことなく、テイクオフベルトをつかむ、しっかりと安定したサポートができます。重度被介助者の座位移乗や排泄時の支援に使用できます。
想定価格：定価￥22,000（税抜き）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア）○介護者（在宅ケア） ○被介護者（施設ケア）○被介護者（在宅ケア）
○リハビリ利用者（集団）○リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 ○要介護 1 ○要介護 2 ○要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） ○ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
○自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

使用時は被介助者から目を離さないでください。
本製品に表示されている被介助者の体重を超えないでください。
被介助者の腰囲に合ったサイズの本製品を使用してください。
洗濯時の柔軟剤の使用は避けてください。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

歩行訓練や重度被介助者の座位移乗、簡易スタンディングリフトのテイクオフとの併用時に使用します。


歩行訓練


重度被介助者の座位移乗


簡易スタンディングリフトのテイクオフとの併用

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社ミクニ ライフ＆オート

企業 URL ： https://www.mikuni-la.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○□居室 ○□トイレ ○□個浴 ○□個浴脱衣所 ○□特殊浴槽 ○□特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 ○□移乗支援 □移動支援 ○□入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

介護をする人 介護を受ける人	に対し、	負担を軽減 安全・安心を提供	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○□介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
○□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： 電動介護リフト ミクニマイティエースⅡ

製品／サービスの URL： https://www.mikuni-la.co.jp/care/

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください







Youtube ミクニ介護リフトチャンネル：
https://www.youtube.com/channel/UCh8n9gllwqcDCWkVtpKrmcA

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

多関節アームで広範囲に移動できる電動介護リフトです。
既存の浴室・ユニットバスや居室に簡単設置できる支柱式タイプや、既存のベッドにも後から簡単に設置できるベッド固定式タイプなどがあります。
想定価格：ミクニマイティエースⅡ浴室セット…615,000 円～、ミクニマイティエースⅡベッドセット…537,000 円～

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア） ○介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
○被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 ○要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） ○ランク A（準寝たきり）
○ランク B（寝たきり／座位保つ） ○ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） ○ランク Ⅳ ○ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

＜本体ユニット＞
昇降ストローク：1,600mm
最大吊り重量：90kg
電源：AC100V
ハンガー幅：450mm

＜支柱ユニット＞
全高：2,500mm 以内で任意
第一アーム長：500mm,400mm
第二アーム長：400mm,300mm
第一関節可動域：±110°
第二関節可動域：±120°

＜ベッドセット用フレーム＞
全高：2,050mm
第一アーム長：515mm
第二アーム長：300mm
第一関節可動域：55°
第二関節可動域：±120°
ハンガー可動域：360°

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社ジェイテクト

企業 URL　：　https://active-life.jp/jpasfleairy/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室　■トイレ　■個浴　■個浴脱衣所　■特殊浴槽　■特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　■リハビリ室
□会議室　□事務室　■送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　■移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

介助作業（移乗、オムツ交換、体交、シーツ交換、入浴など）	に対し、	腰部負担の軽減

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者の身体的負担軽減　■介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
■被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
■人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　J-PAS fleairy

製品／サービスの URL：　https://active-life.jp/jpasfleairy/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

Youtube チャンネル：https://www.youtube.com/channel/UCxtQRSMVtDsFZmJUkNfdOHA



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

着用により、介助作業における中腰姿勢の腰部負担の軽減を行います。
本製品は介護用として開発されており、防水機能、しゃがみ姿勢対応など、介護現場にマッチした特性を備えています。倉庫用、工場用のものとは全く違う、新感覚の介護用パワーアシストスーツです。
想定価格：メーカー希望価格　本体セット　¥298,000（税抜）

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

下記に該当する方はご使用をお控えください。
・お酒を飲んでいる方　・16 歳未満の方　・過労、睡眠不足の方　・病気、ケガを抱えている方
・妊娠中の方　・ペースメーカーを装着されている方

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）





神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： マッスル株式会社

企業 URL ： https://musclecorp.com/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

(□居室) □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 (□特殊浴槽脱衣所)
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 (□移乗支援) □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

体重過多、ADL 低下等で複数人介助が必要な方や、移乗時に痛みや介護者への遠慮・恐怖感・拒否等、心身の負担のある方 に対し、介護をうける方は、揺れも少なく、安心安全に、介護する方は、対面で顔色や全身の様子をみながらベッド、車椅子間の移乗介助を することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

(□介護者の身体的負担軽減) (□介護者の精神的負担軽減) □介護スタッフ間の連携強化
(□被介護者の安全確保) (□被介護者の QOL 向上) (□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実)
(□人材育成・定着促進) (□周辺業務の効率化・省力化) □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： ROBOHELPER SASUKE

製品／サービスの URL： https://musclecorp.com/care/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





動画 URL:https://youtu.be/wlWfTWo-Aug

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

まるで腕で抱きかかえるような優しい感覚でベッド、車いす間の移乗介護が、一人の介助でできるようになります。介護を受ける方の身体をシート面で支えるため体圧が分散され、また揺れない安定した移乗が可能です。密になりすぎないやさしい移乗介護が可能となります。臥位～座位までの適した姿勢に保持できるため、多様な車いす（標準型・リクライニング）で使用できます。　想定価格：998,000 円（非課税）

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア）　□介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）　□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）　□リハビリ利用者（個別）　□管理者（スタッフ管理）　□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

対応荷重は 120kg まで、対応身長は 140～180cm。
脱衣所での使用は可能だが、浴室内での使用は困難。
ベッド下に高さ 70mm 以上の空間が必要。床材が柔らかい素材の場合は高さ 10mm以上の空間が必要。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社いうら

企業 URL　：　https://www.iura.co.jp/index.html#id111（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　☑移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

① 介護者 ② 被介護者	に対し、	① 腰痛の軽減、業務の効率化 ② 筋緊張の緩和、移乗時の安全確保	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　☑介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　EL-580 【移動式リフト】

製品／サービスの URL：　https://www.iura.co.jp/products/el580/index.html（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

動画 URL→　https://youtu.be/N9y-lAIm4yo?t=14

テクニック不要！揺れ軽減！
アームが垂直に近い状態で動くため
着座位置が決めやすい。
揺れが少ないため**恐怖感がない**。

女性も楽に使える！
ペダルを踏むと旋回を補助してくれる
機能のおかげで**省スペース、軽い力**で
取り回し出来る。**狭い居室**にも
おすすめ。



ストレスフリー！
支柱が 2 本に分かれているので
吊り上げた時に**足が当たらない**。
フルリクライニング車椅子も使え

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

・兵庫県　介護ロボット補助金対象機器

メーカ希望小売価格：¥525,000-

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
☑被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　☑要介護 2　☑要介護 3　☑要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランクＪ（生活自立）　☑ランクＡ（準寝たきり）
☑ランクＢ（寝たきり／座位保つ）　□ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランクⅠ　☑ランクⅡ（a・b）　☑ランクⅢ（a・b）　□ランクⅣ　□ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・浴室での使用禁止
・体重 120 kg以上のご利用者様の使用禁止

※使用方法についての研修会実施可能です。(スリングシートの選定も含む。)

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

施設様のお声
・求人募集にリフトを導入している事を記載したら求人者が増えた。
・伸展拘縮している方の足が支柱にあたらないので使いやすかった。(他社からの買い替え)

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： アイ・ソネックス株式会社

企業 URL ： https://www.nasent.net/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室 ○トイレ □個浴 ○個浴脱衣所 □特殊浴槽 ○特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ○リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 ○移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

抱え上げ介助での腰痛や転倒リスクなど、身体的・精神的負担	に対し、	1 人介助で抱え上げることなく安定した姿勢で移乗でき、身体的・精神的負担軽減

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 ○被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： スカイリフト SL-2018R
製品／サービスの URL：
https://www.nasent.net/%e5%95%86%e5%93%81%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e7%a7%bb%e4%b9%97%e3%83%bb%e7%a7%bb%e5%8b%95%e7%94%a8%e5%85%b7/%e3%82%b9%e3%82%ab%e3%82%a4%e3%83%aa%e3%83%95%e3%83%88/

製品／サービスの写真・動画





活用事例（動画）：https://youtu.be/WpCp92kwlGs

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

起立姿勢で移乗・移動ができるスタンディングリフトで、移乗はもちろん、下衣の着脱、臀部の清潔保持等、排泄ケアをサポートします。1 人介助の実現、介助者の腰痛予防だけではなく、要介護者が気兼ねなく介助を頼める、下肢機能の維持・改善が期待できる等、双方が安心して使用可能です。車いすと同等サイズのコンパクトさで小回りがきき、ボタンは「あがる」、「さがる」だけの簡単操作。定価：528,000 円（非課税）　スリングシート：35,200 円～（税込）

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

(○)□介護者（施設ケア）　(○)□介護者（在宅ケア）　(○)□被介護者（施設ケア）　(○)□被介護者（在宅ケア）

□リハビリ利用者（集団）　□リハビリ利用者（個別）　□管理者（スタッフ管理）　□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ

□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ

□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定

□要支援 1、2　　□要介護 1　(○)□要介護 2　(○)□要介護 3　(○)□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

□自立　　□ランク J（生活自立）　(○)□ランク A（準寝たきり）

(○)□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

□自立　　□ランク Ⅰ　　□ランク Ⅱ（a・b）　(○)□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

適用身長：145cm～175cm　／　適用体重：100kg 未満

・ベッドに自力、またや一部介助で端座位が可能な方

・座位から立位までの下肢関節の可動域がある程度保たれている方

・片麻痺、両下肢麻痺、四肢麻痺があっても下肢に体重をかけることが可能な方

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）





神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　パシフィックサプライ株式会社

企業 URL　：　https://www.p-supply.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

移乗の際の抱え上げの介助で発生する身体負担と複数人介助の実態	に対し、	身体負担の大幅な軽減と少ない介助者で安定した移乗を実施

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　スマート 150

製品／サービスの URL：https://www.p-supply.co.jp/products/index.php?act=detail&pid=152

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





【使用例】

https://www.youtube.com/watch?v=-_ntUS_2jMw

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

国内トップクラスに操作が容易かつ快適な移乗が可能な床走行式リフト。小型で折りたたみも可能なため、多くの場面で用可能。防水仕様のため入浴現場での利用にも最適。機器異常やメンテナンス時期をお知らせしてくれる機能付き。

【想定価格】：540,000（非課税）　＊別途スリングが必要：サイズや種類により 5 万～7 万程度が相場

【弊社独自サービスとして】：サブスクサービスの実施　8,500 円／月から利用可能

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）

□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ

□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ

□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定

□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）

□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク V

自社独自の分類

抱えあげに限らず、移乗介助に負担を感じる場合には導入検討をおすすめ

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

低床型ベッドには対応が困難。ベッド下に最低 11 センチの高さが必要。

⇒低床型ベッド使用時はベッド自体の補高を検討いただくか、別機種（ムーバー205）の提案

伏臥位での移乗は原則不可。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。

ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　パシフィックサプライ株式会社

企業 URL　：　https://www.p-supply.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

移乗の際の抱え上げの介助で発生する身体負担と複数人介助の実態	に対し、	身体負担の大幅な軽減と少ない介助者で安定した移乗を実施

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　ムーバー205

製品／サービスの URL：https://www.p-supply.co.jp/products/index.php?act=detail&pid=636

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください







6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

圧迫感の少ない安定した移乗を簡単に行うことができます。低床型ベッドにも対応しながら、床からの吊り上げも可能。
防水仕様のため入浴現場での利用にも最適。機器異常やメンテナンス時期をお知らせしてくれる機能付き。
【想定価格】：660,000（非課税）　＊別途スリングが必要：サイズや種類により 5 万～7 万程度が相場
【弊社独自サービスとして】：サブスクサービスの実施　9,500 円／月から利用可能

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

抱えあげに限らず、移乗介助に負担を感じる場合には導入検討をおすすめ

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

伏臥位での移乗は原則不可。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社タイカ

企業 URL ： https://taica.co.jp/pla/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

被介護者を移動するのに持ち上げるなど体に負担がかかること	に対し、	介助者の体に負担なく楽に体位変換や移動

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

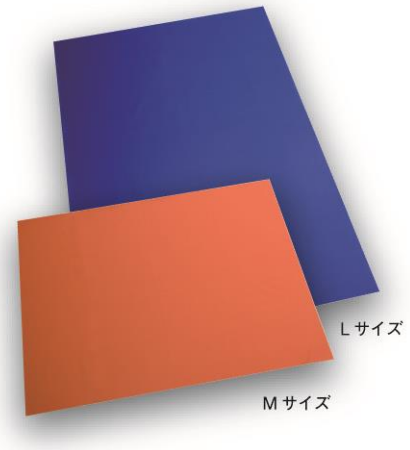
5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：スマイルシート

製品／サービスの URL： https://taica.co.jp/pla/product/smile_sheet/

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

一枚で方向の指定がなく簡単で使いやすいスマイルシートは体位変換や移動をスムーズにします。
1. パラシュート用の生地を使用しているため、滑りが良く耐久性があります。
2.洗濯・清拭消毒ができます。　※出張無料で使用方法などのセミナー開催しています。
想定価格：M サイズ(幅 145 ㎝長 100 ㎝)¥8,250(税込)　Lサイズ(幅 100 ㎝長 200 ㎝)¥13,750(税込)

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☐介護者（施設ケア）　☐介護者（在宅ケア）　☐被介護者（施設ケア）　☐被介護者（在宅ケア）
☐リハビリ利用者（集団）　☐リハビリ利用者（個別）　☐管理者（スタッフ管理）　☐管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

☐想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
☐被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
☐被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
☐要支援 1、2　☐要介護 1　☐要介護 2　☐要介護 3　☐要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
☐自立　☐ランクＪ（生活自立）　☐ランクＡ（準寝たきり）
☐ランクＢ（寝たきり／座位保つ）　☐ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
☐自立　☐ランクⅠ　☐ランクⅡ（a・b）　☐ランクⅢ（a・b）　☐ランクⅣ　☐ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

基本的にベッド上での使用
※車いす上での座位の修正にも使用可能

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：フランスベッド株式会社

企業 URL　：https://www.francebed.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　☑移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ベッドからの離床に対し、身体的・精神的な負担を感じる利用者・介助者	に対し、	寝姿勢から立ち上がり姿勢まで 4 つのポジションに変形し、負担を軽減しながら離床を支援

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：離床支援　マルチポジションベッド

製品／サービスの URL：https://www.youtube.com/watch?v=jl5NHErERys&authuser=0

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

本製品に搭載されております「マルチポジションボタン」1 つで 4 つのポジションを取ることができます。
介助者はボタン操作で介助のしやすい姿勢にしたり、移乗介助をしやすい体勢にすることで移乗介助の労力を軽減することができます。
想定価格：９５２,０００円から

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

リフトの利用について
ベッドの頭側からリフトを利用する場合のベースフレーム脚部の外寸は約 93 ㎝です。
ベッド側面から利用する場合のベースフレーム脚部の内寸は約 158 ㎝、床面からの高さは約 5 ㎝です。
脚側からはリフトを使用しないで下さい。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社帝健

企業 URL　：　https://www.kk-teiken.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室　○トイレ　○個浴　□個浴脱衣所　○特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　○移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

移乗時での対象者の持ち上げ介助（対象者様、環境の状態からリフトの使用が難しい場合など）	に対し、	臥位もしくは座位の状態で持ち上げずに滑らせて移乗

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減　○介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保　○被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　ラクラックスシリーズ

製品／サービスの URL：https://www.kk-teiken.co.jp/products/microstar/rakurax.html



https://www.youtube.com/watch?v=K3mAA4iRHfo

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

製品の種類は全部で９種類あり、シーンに応じて貸出をいたします。
ベッド上での移動、臥位での移乗、座位での移乗など。

想定価格：13,200 円～68,640 円（税込）、汎用タイプのレギュラー（写真の商品）は 52,360 円（税込）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ○被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

○想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） □ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

座位で使用するタイプは自力で端座位が取れ、脚に体重をかけることができ、ある程度自力で移乗できる方を対象としています。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　RT.ワークス株式会社

企業 URL　：　RT ワークス（rtworks.co.jp）　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
☑食堂　☑多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　☑移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

電動アシスト機能無しの歩行器利用時は、歩行中のつまづきや突進歩行等による転倒を防ぐ為、職員の付き添い介助が必要

に対し、

RT.2 のブレーキ機能と音声案内で見守り介助ができるようになり、職員の負担軽減

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　ロボットアシストウォーカーRT.2

製品／サービスの URL：　ロボットアシストウォーカー　RT.2｜製品紹介｜RT ワークス（rtworks.co.jp）

製品／サービスの写真・動画





【動画 URL】
・紹介動画　https://www.youtube.com/watch?v=IXKZQR8iApc&t=23s
・使用方法等の動画　https://www.youtube.com/channel/UCXp4R-FA-aMveFQGgixiaWw

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

センサーとモータを駆使したロボット技術により路面状況や速度超過等を検知し、自動の電動アシスト機能で安心・安全な歩行を実現。それにより被介護者の歩行時の転倒防止や歩行意欲の向上による距離、時間、外出頻度の増加につながり、介護者側は転倒未遂による事故率の軽減、歩行介助の負担軽減による職員の離職率の低減が期待できる。

想定価格：118,000 円（税別）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
☑要支援 1、2 ☑要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
☑自立 ☑ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
☑自立 ☑ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

【使用方法】 ・ハンドル高さを適正に調整する ・アシスト力、ブレーキ力、速度制限の設定値を適正に設定する。
・バッテリー装着し、電源を入れて押し歩く。
【禁忌及び注意事項】 ・歩行以外の用途には使用しない。 ・急な坂道では使用しない。 ・雨の日は使用しない。
・座面の上に乗ったり、ペット等の生態運搬には使用しない。 ・電源「切」やバッテリー残量無しの際には坂道を歩行しない。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

★施設導入事例「厚労省 介護ロボット事例集」に掲載
«導入施設名» 社会福祉法人誠友会 特別養護老人ホーム木崎野荘、デイサービス木崎野、デイサービスいこいの森（青森県）
«機器導入の効果»
・歩行が安定し利用者本人の転倒リスクが減少、さらに姿勢も良くなったり、新しいもの、ロボットを使っているということで歩く意欲が増した方もあり。
・歩行介助が見守りに変わることで介護者の負担んが減り、他の方の見守りをする余裕が生まれた。







神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： シーマン株式会社

企業 URL ： https://www.sheen-man.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室 ○トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ○リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 ○移動支援 □入浴支援 ○排泄支援 □食事支援
○リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 ○居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

座位姿勢も立位姿勢も保持できるが、補助がないと立ち上がりが難しい人や足の踏み替えが難しい人	に対し、	対面で立ち上がり動作の支援や、立位姿勢で方向転換がしやすいため、トイレでの排泄介助を介助者一人でも

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 ○介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保 ○被介護者の QOL 向上 ○被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 ○周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： テイクオフ （簡易スタンディングリフト）

製品／サービスの URL：https://www.sheen-man.co.jp/product/product-cat05/takeoff/

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



【本製品の使用対象者】
・補助があれば立ち上がりや立位姿勢が取れて、バランスも取れる人。
・スタンディングハンドルをつかめて、介助者の指示が理解できる人

https://youtu.be/kUW2elJINAs

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

座位姿勢と立位姿勢は保持できるが、起居動作に支援が必要な被介助者が対象です。 立位が取れる被介助者の立位姿勢の支援は、足底に体重がかかる状態を支援します。

被介助者の方向転換ができるため、例えば、トイレでの排泄介助を一人介助で行えます。日本の使用環境に合わせたコンパクト設計です。

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア）○介護者（在宅ケア） ○被介護者（施設ケア）○被介護者（在宅ケア）

□リハビリ用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ

□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ

□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定

□要支援 1、2 ○要介護 1 ○要介護 2 ○要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

□自立 □ランクＪ（生活自立） ○ランクＡ（準寝たきり）

□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

○自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

テイクオフは室内の、平らな場所の短距離移動用です。

対象者は次の項目ができる方になります。1．立位姿勢と座位姿勢が取れる。2．補助があれば立ち上がり、バランスを取ることができる。

3．スタンディングハンドルをつかむことができる。4．介助者の指示を理解できる。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

起居動作の支援や室内の短距離移動、方向転換、トイレ介助に使用します。





神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社ハイレックスコーポレーション

企業 URL ： http://www.hi-lex.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室 □トイレ ○個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 ○入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

① 二人で介護されている人 ② 足が上がりにくく、入浴困難な方 ③ 腰痛を持っている介護者	に対し、	① 1 人介護で利用者を入浴させること ② 安全に入浴する事 ③ 腰痛負担を軽減できる	することができる

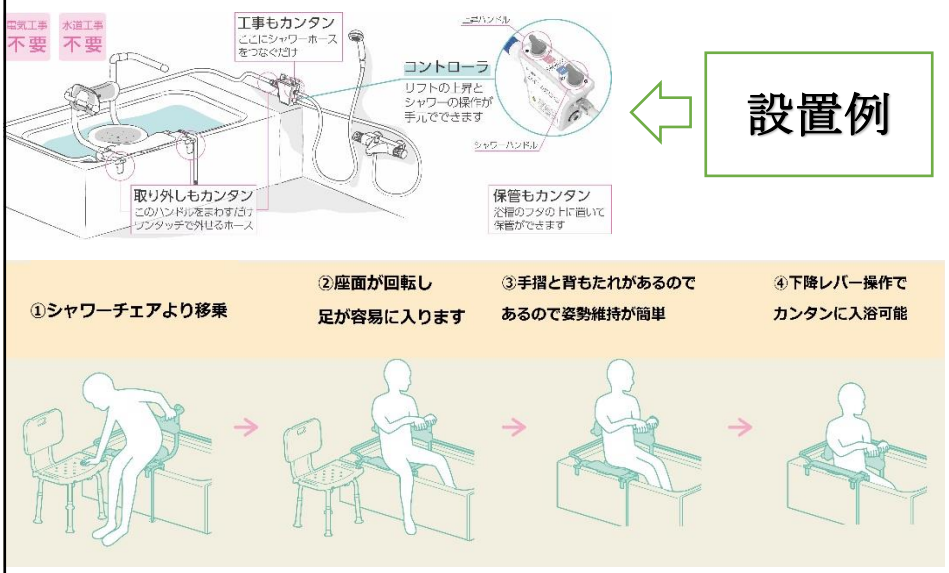
4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保 ○被介護者の QOL 向上 ○被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： バスアシスト

製品／サービスの URL：https://www.youtube.com/watch?v=3D5SOaEHop4&t=29s



設置例

製品特徴

① 転落予防に手すりと背もたれや座面の回転、水圧で昇降する椅子により介護者の補助

② 個浴の浴槽にも取付取外しが可能。好きな時に入浴ができます。

③ ハンドルを回すと上昇、レバーを引くと下降の簡単操作、シャワーも手元で操作できます。

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

サイズ：幅 623mm×奥行 641mm×高さ 947mm、本体：約 7.8 kg、操作部：1 kg
軽量で軽々取外し、設置可能。 水圧による上下昇降、充電不要、 一切の電気を使用しないので丸洗いでき、いつも清潔。 水道工事も簡単、個浴に後付けで設置可能（専門業者の設置必要無し）。
想定価格：定価 320,000 円（税抜）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア） ○介護者（在宅ケア） ○被介護者（施設ケア） ○被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） ○リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
○被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

介護保険制度 要介護認定
○要支援 1、2 ○要介護 1 ○要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 ○ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
○ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 ○ランク Ⅰ ○ランク Ⅱ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

【利用者】 ・適用身長(目安)140～180 ㎝ ・適用体重（目安）35～80 kg、＊座位が保てる方
【対象浴槽】 浴槽縁：3.5 ㎝、浴槽内深さ：44～45 ㎝、浴槽長さ：97 ㎝以上、浴槽内奥行：38 ㎝以上
【介護者】 ・機器の操作が理解でき、介護可能な健康状態の方
【禁止事項】 ・使用できない環境：すべての浴槽に設置出来ない為、事前に設置可能か確認ください。
【安全に利用する為の配慮】・機器への移乗は、必ず介護者が付き添い、ゆっくり移乗し転倒を予防する。
・コントローラーは手の届く場所に設置して緊急時に停止できるようにする。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



このような浴槽内のひじ掛けや湾曲形状の浴槽でも設置可能です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社いうら

企業 URL　：　https://www.iura.co.jp/index.html#id111（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　☑個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　☑入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

① 介護者 ② 被介護者	に対し、	① 腰痛の軽減、業務の効率化 ② 筋緊張の緩和、移乗時の安全確保	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　☑介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　LS-500 【リフト付シャワーキャリー】

製品／サービスの URL：　https://www.iura.co.jp/products/ls500/index.html（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

動画 URL→　https://youtu.be/nmfuQjcBjoc



特長

① 既存浴槽・浴室環境が適合すれば、工事不要で設置可能。

② シートスライド式で、簡単、安全に入浴介助が出来ます。

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

メーカ希望小売価格：¥1,800,000-(非課税) ※別途専用レール必要

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 ☑要介護 2 ☑要介護 3 ☑要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） ☑ランクＡ（準寝たきり）
☑ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ ☑ランクⅡ（a・b） ☑ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・設置可能な浴槽が限られている。
・体重 100 kg以上のご利用者様の使用禁止

※既存浴槽の設置可否の確認や使用方法についての研修会も実施可能です。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

【施設様のお声】
・求人募集にリフトを導入している事を記載したら求人者が増えた。
・個浴に自力で入れる方が減少し、個浴の入浴介助が大変だったが、リフトを導入することで入浴介助が楽になった。
・個浴を持て余していたが、リフトを導入出来た事で、業務効率が上がった。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社 EINS(アイン)

企業 URL ： https://eins-1.jp （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 ■特殊浴槽 ■特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 ■入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

寝たきりの方	に対し、	寝ておられるベッドの上で入浴	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 ○介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保 ○被介護者の QOL 向上 ○被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
○人材育成・定着促進 ○周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： ナノミストバス・キャリータイプ

製品／サービスの URL： https://eins-1.jp/service/carry/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://youtu.be/kV9mDXpLeAU

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

想定価格：850,000 円　2022/10/1 より 900,000 円に改定されます

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア）○介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

洗う、温まるを同時に行う入浴装置

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

拘縮等で体の全幅が 60cm 以上に固定されている方は入浴に工夫が必要です。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社ワクレア

企業 URL　：　https://wacrea.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　☑個浴　□個浴脱衣所　☑特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　☑入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

入浴介助時の身体的、精神的な負担が大きいこと　に対し、手洗いによる洗身業務が大幅に減り、こすらずきれいに全身を洗浄し、介護者の身体的・精神的な負担も大幅に軽減　することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　ミラバス

製品／サービスの URL：　https://wacrea.co.jp/caring/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





https://www.youtube.com/watch?v=VFrlP5z_MQY　（ユーチューブにて紹介しています）

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

ユニットバス向け内蔵型ミラバスです。
介護スタッフ様にとって労力のかかる入浴介助作業。肉体的、精神的な疲労も大きくストレスを抱えることもあります。
入浴するだけで汚れが落ちることでスタッフ様の負担軽減、コスト削減、施設の価値向上につながります。
想定価格：316,800 円（税込）施工費 66,000 円（税込）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

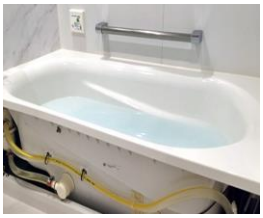
認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

医師より入浴を制限されている方。
（例えば心臓疾患のある方、ペースメーカーを装着されている方、高血圧の方、などにより、医師から入浴そのものを制限されている方。血圧症の方でも医師から入浴を制限されていない方はあてはまりません。）
防水パンがない浴室不可。在来型・ホーロー製の浴槽不可。取付前に確認が必要。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



全身の手洗による洗身業務に大変な負担を抱えているスタッフの方々、これを導入することで汚れの付着しやすいお下の洗浄のあとは目に見えない小さい泡が利用者さんの全身を洗浄してくれるので、肉体的な負担が大幅に減り、介助にあたるスタッフの人数を削減することにもつながるとのお声が寄せられている。洗身時にけが等させないようにと精神的にも負担を抱えていただが、今は気持ち的にも余裕が生まれ利用者さんとの会話を楽しむこともできている。またCMの効果もありあの機械がここで利用できるのだという施設の価値観向上にもつながっていると好評である。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社ワクレア

企業 URL　：　https://wacrea.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　☑個浴　□個浴脱衣所　☑特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　☑入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

入浴介助時のスタッフの身体的、精神的な負担が大きいこと　に対し、　手洗いによる洗身業務が大幅に減り、こすらずきれいに全身を洗浄し、介護者の身体的・精神的な負担も大幅に軽減　することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　どこでもミラバス

製品／サービスの URL：　https://wacrea.co.jp/caring/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



https://www.youtube.com/watch?v=VFrlP5z_MQY　（ユーチューブにて紹介しています）

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

持ち運び可能タイプ。
介護スタッフ様にとって労力のかかる入浴介助作業。肉体的、精神的な疲労も大きくストレスを抱えることもあります。
入浴するだけで汚れが落ちることでスタッフ様の負担軽減、コスト削減、施設の価値向上につながります。
想定価格：327,800 円（税込）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

医師より入浴を制限されている方。
（例えば心臓疾患のある方、ペースメーカーを装着されている方、高血圧の方、などにより、医師から入浴そのものを制限されている方。血圧症の方でも医師から入浴を制限されていない方はあてはまりません。）

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



全身の手洗による洗身業務に大変な負担を抱えているスタッフの方々、これを導入することで汚れの付着しやすいお下の洗浄のあとは目に見えない小さい泡が利用者さんの全身を洗浄してくれるので、肉体的な負担が大幅に減り、介助にあたるスタッフの人数を削減することにもつながるとのお声が寄せられている。洗身時にけが等させないようにと精神的にも負担を抱えていただが、今は気持ち的にも余裕が生まれ利用者さんとの会話を楽しむこともできている。またＣＭの効果もありあの機械がここで利用できるのだという施設の価値観向上にもつながっていると好評である。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社アマノ

企業 URL　：　https://www.amano-grp.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　☑個浴　☑個浴脱衣所　☑特殊浴槽　☑特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　☑移乗支援　□移動支援　☑入浴支援　□排泄支援　□食事支援
☑リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

スペースに限りがあり、且つ車椅子利用の利用者が増えてきており、介助者の入浴介助の負担が増加していること	に対し、	本製品を設置することで、限られたスペースで車椅子での入浴介助を行い、入浴介助負担の軽減を

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

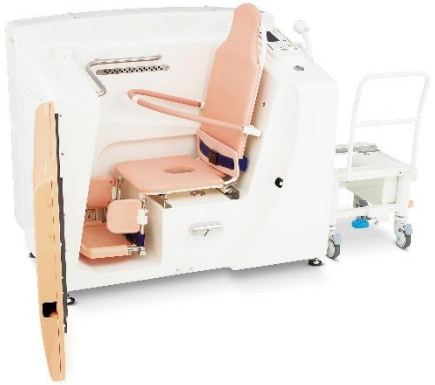
製品名／サービス名：　ニューセレクトバス　ヌクティ　/　A99A(新湯タイプ)・A99AS(ろ過タイプ)

製品／サービスの URL：　https://www.amano-grp.co.jp/products/kobetsu-nyuyoku/nukty/

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://www.youtube.com/watch?v=fC-jv3xVHBk





6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

既存浴室が狭く、大規模な改修工事を行わないと機械浴槽を設置出来ない施設や、既存個浴から車椅子型の機械浴槽を設置したい施設等、スペースや予算に限りがある施設へご提案ができる機種となっております。既存の製品ラインナップに、ヌクティのような新たなアプローチが出来る製品を加えることによって、様々な施設のニーズに応えることが出来る様になっております。

想定価格(車椅子 1 台付き/諸経費別/税別)…A99A(新湯タイプ)￥2,700,000　A99AS(ろ過タイプ)￥3,300,000

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない･検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
☑被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定

☑要支援 1、2　☑要介護 1　☑要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

□自立　□ランク J（生活自立）　☑ランク A（準寝たきり）
☑ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

□自立　□ランク Ⅰ　☑ランクⅡ（a･b）　☑ランクⅢ（a･b）　□ランクⅣ　□ランクⅤ

自社独自の分類

機器の特性上、車椅子にリクライニングや足上げ機能が付いていない為、座位保持が可能な利用者が対象となります。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面･環境面含む）･禁忌及び注意事項

･使用する際は、必ずメーカーからの取扱説明を受けた介助者が操作し、介助には最低 1 人つく事。
･入浴中、介助者は入浴者から目を離さない事。
･不具合が起きた際、ただちに使用を中止し、自分たちで触らずにメーカーに連絡する事。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



※積水ホームテクノ様　ユニットバス導入事例

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

企業 URL ： https://www-biz.co/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☐居室 ☐トイレ ☐個浴 ☐個浴脱衣所 ☐特殊浴槽 ☐特殊浴槽脱衣所
☐食堂 ☐多目的ホール（共有リビングスペース） ☐看護・介護ステーション ☐リハビリ室
☐会議室 ☐事務室 ☐送迎車 ☐その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

☐見守り支援 ☐移乗支援 ☐移動支援 ☐入浴支援 ☐排泄支援 ☐食事支援
☐リハビリ支援 ☐介護記録等 ☐介護業務支援 ☐居室環境等管理支援 ☐ヘルスケア
☐その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

ご利用者さまの排尿タイミング	に対し、	予測してトイレに誘導	することができる

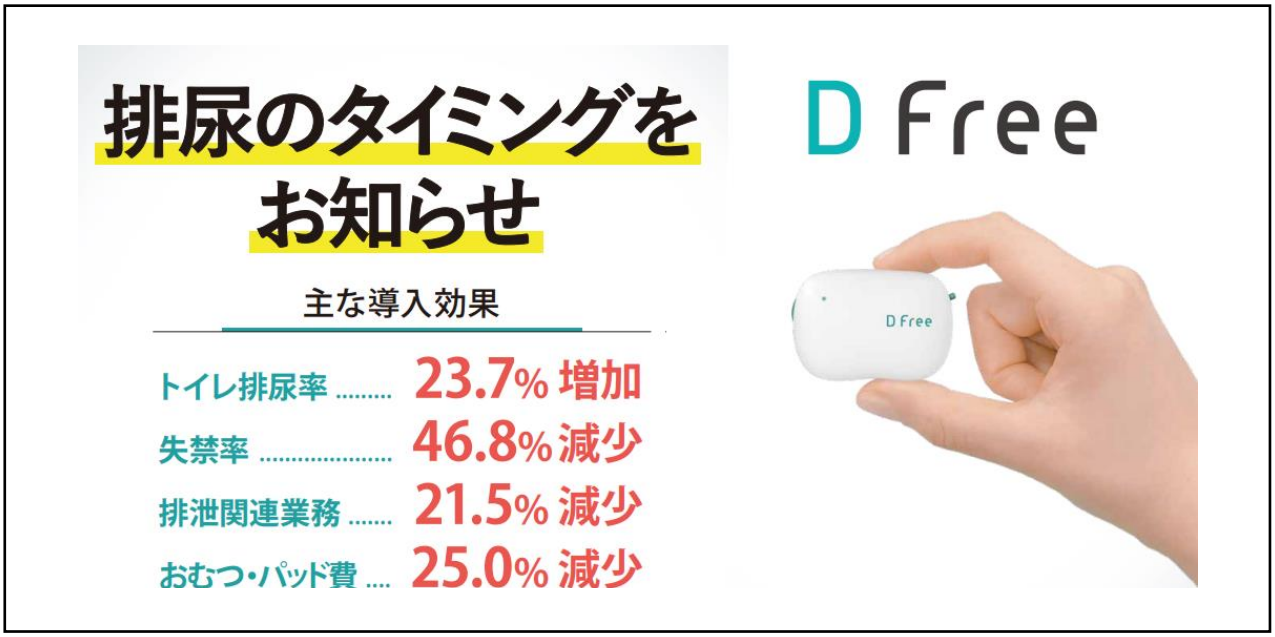
4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☐介護者の身体的負担軽減 ☐介護者の精神的負担軽減 ☐介護スタッフ間の連携強化
☐被介護者の安全確保 ☐被介護者の QOL 向上 ☐被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☐人材育成・定着促進 ☐周辺業務の効率化・省力化 ☐業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： 排泄予測デバイス DFree

製品／サービスの URL： https://dfree.biz/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

・DFree 本体及び中継機セットのご提供
・尿のたまり具合測定機能と排尿タイミングなどお知らせ機能
・モニタリング及び排泄記録サービスなど、クラウド利用料含む
想定価格：300,000 円（税別）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ○□被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
○□要支援 1、2 ○□要介護 1 ○□要介護 2 ○□要介護 3 ○□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） ○□ランク A（準寝たきり）
○□ランク B（寝たきり／座位保つ） ○□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 ○□ランク Ⅰ ○□ランク Ⅱ（a・b） ○□ランク Ⅲ（a・b） ○□ランク Ⅳ ○□ランク Ⅴ

自社独自の分類

無し

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・下腹部に脂肪が多くある方や下腹部の脂肪が極度に弛んでいる方
・常に前傾や 90 度側臥位の姿勢の方
・ペースメーカーや埋め込み式機器をお使いの方

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

装着用シートを下腹部に貼り、DFree に超音波ジェルを塗って、装着用シートに DFree をセットします。



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：株式会社アム

企業 URL　：http://www.pota-kun.jp　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　☑トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　☑排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ポータブルトイレの臭い・後始末を無くし被介護者と介護者	に対し、	被介護者が自分で処理出来るので、前向きな気持ちになり、自発的な介護計画を策定

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

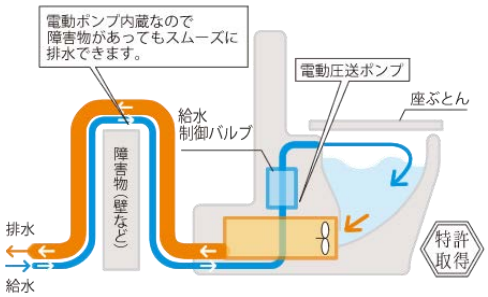
製品名／サービス名：水洗式ポータブルトイレ「流せるポータくん 3 号」洗浄便座付き

製品／サービスの URL：http://www.pota-kun.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください







■動画 URL

https://www.youtube.com/watch?v=7lYVNFiqLK8&t=35s

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

ベッドサイドに設置出来る圧送式の水洗トイレです。足元か手元に置いたスイッチをポンと押すと家のトイレの様に水が流れて後始末をしてくれます。ポータブルトイレの臭いや後始末が完全に無くなり、ボタンを押すだけなので利用者様が自発的に排泄にチャレンジする様になります。　　想定価格：税別¥300,000 程度～

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア）　☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
☑被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
☑要支援 1、2　☑要介護 1　☑要介護 2　☑要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
☑自立　☑ランク J（生活自立）　☑ランク A（準寝たきり）
☑ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
☑自立　☑ランクⅠ　☑ランクⅡ（a・b）　□ランクⅢ（a・b）　□ランクⅣ　□ランクⅤ

自社独自の分類

・ベッドサイドにトイレが有れば自力でトイレが出来る方。
・おむつからポータブルトイレの利用にチャレンジしている方。等

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

使用者体重 80kg 程度を目安。座位が保てる方又は介護者や器具の補助を使って座位が保てる方。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。





大掛かりな配管工事は必要とせず、半日程度で終わる事が多いです。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　パシフィックサプライ株式会社

企業 URL　：　https://www.p-supply.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

トイレの移乗時において、抱え上げ介助やズボンの着脱作業に双方に大きな身体的な負担や転倒リスクがあること	に対し、	抱え上げをしない安定した介助とズボンの着脱が可能。転倒リスクも減少

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　クイックレイザー 2

製品／サービスの URL：https://www.p-supply.co.jp/products/index.php?act=detail&pid=159

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





＜使用例＞https://www.youtube.com/watch?v=9PYh36tWWwk

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

背から身体を支えるスタンディングリフト。ウェストポーチ型のスリングで素早く安定したトイレ介助が可能。
機器異常やメンテナンス時期をお知らせしてくれる機能付き。
【想定価格】：850,000（非課税）　＊別途スリングが必要：サイズや種類により 5 万～7 万程度が相場
【弊社独自サービスとして】：サブスクサービスの実施　10,000 円／月から利用可能

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

端座位が可能で、足関節に大きな痛みや可動域制限のない方向け。
補助付きなら歩行できるが安定にかける方や、スライディングボードが利用できるが立位が難しい方などに最適

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

腰部から背部にかけて立ち上がり補助を行うため、極度の側弯がある方には不向き。
また、重度の認知症などで意思疎通が図れない方にも不向き。
低床型ベッドで利用する場合は補高が必要。⇒ベッド下に 11 ㎝の高さが必要

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社 がまかつ

企業 URL　：　https://www.gamakatsu.co.jp/kaigo/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　◉トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　◉移乗支援　□移動支援　□入浴支援　◉排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

① 排泄時において、通常複数人介助 ② 移乗・立位・座位保持時での身体的負担 ③ 排泄時の見守り介助	に対し、	① 1 人介助 ② 負担軽減 ③ 1 人で排泄

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

◉介護者の身体的負担軽減　◉介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
◉被介護者の安全確保　◉被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
◉人材育成・定着促進　◉周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　SATOILET（サットイレ）

製品／サービスの URL：　https://www.gamakatsu.co.jp/kaigo/

製品／サービスの写真・動画

https://img.youtube.com/vi/G981ISamf0g/hqdefault.jpg



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

想定価格：　・本体（旋回機構付）　1,05,000 円　＊2022 年 7 月末時点
・据置式組立アルミフレーム　参考価格　200,000～300,000 円（寸法により変動）

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

◎介護者（施設ケア）◎介護者（在宅ケア）◎被介護者（施設ケア）◎被介護者（在宅ケア）
◎リハビリ利用者（集団）◎リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
◎要支援 1、2　◎要介護 1　◎要介護 2　▲要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランクⅢ（a・b）　□ランクⅣ　□ランクⅤ

自社独自の分類

支援されながらでも自力で歩行可能な方をご利用対象としています。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・円背の方は要注意
・支援されながらでも自力で歩行出来ない方はご利用対象外
・胸部に医療・電子機器を装着されている方はご利用対象外
・肩に力の入らない方はご利用対象外

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：株式会社アペックス西日本

企業 URL　：https://www.apex-co.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　給湯室・ダイニング・パントリー等　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

嚥下障害のあるご利用者に提供するとろみ付き飲料の提供業務に係る労務負担及び粘度不安定による誤嚥リスク	に対し、	自動で簡単に、常時安定した粘度のとろみ付き飲料を多量調理し、誤嚥リスク防止及びとろみ調理に係っていた時間を有効に活用

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

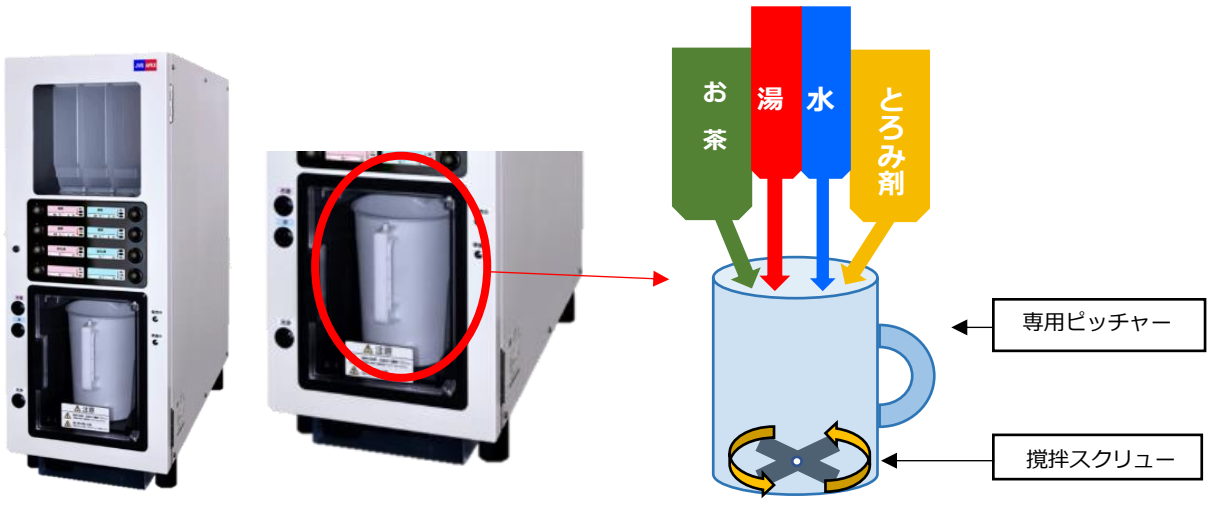
5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：とろみ自動調理サーバー（APEX-30SV）

製品／サービスの URL：https://www.apex-co.co.jp/toromi-lp/

製品／サービスの写真・動画

※1 機種の写真や動画 URL を載せてください ⇒ https://www.youtube.com/watch?v=M28njPUvGOA



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

選択ボタンを押すと、専用ピッチャーの中へ水もしくはお湯が注がれ、粉末のお茶が投入、撹拌スクリューが高速回転し水流が発生したところへとろみ材が投入されます。その後粘度が発現し安定するまで撹拌を続けることで、常に安定したとろみ付き飲料を実現します。ワンボタンで最大 2ℓ 調理ができるうえ、とろみなしのお茶も調理も可能です。 また、弊社が毎月保守メンテナンスを行うことで、安心してご使用いただけます。

想定価格：700,000 円(税別)

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

給水設備必須（水道直結。排水設備は不要）
電源設備必須（100V・15A）
設置スペース確保（幅 300mm 以上、奥行 750mm 以上）
設置台必須（耐荷重：60kg 以上）

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：シーホネンス株式会社

企業 URL　：http://www.seahonence.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室　■トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　■多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　■移乗支援　□移動支援　□入浴支援　■排泄支援　□食事支援
■リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ベッドから車イスの移乗の際に発生する抱上げによる転倒リスク、介助者の身体的負担に対して、移乗の際に発生する抱上げがが発生しないので転落リスク、身体的負担を軽減する事が出来ます。

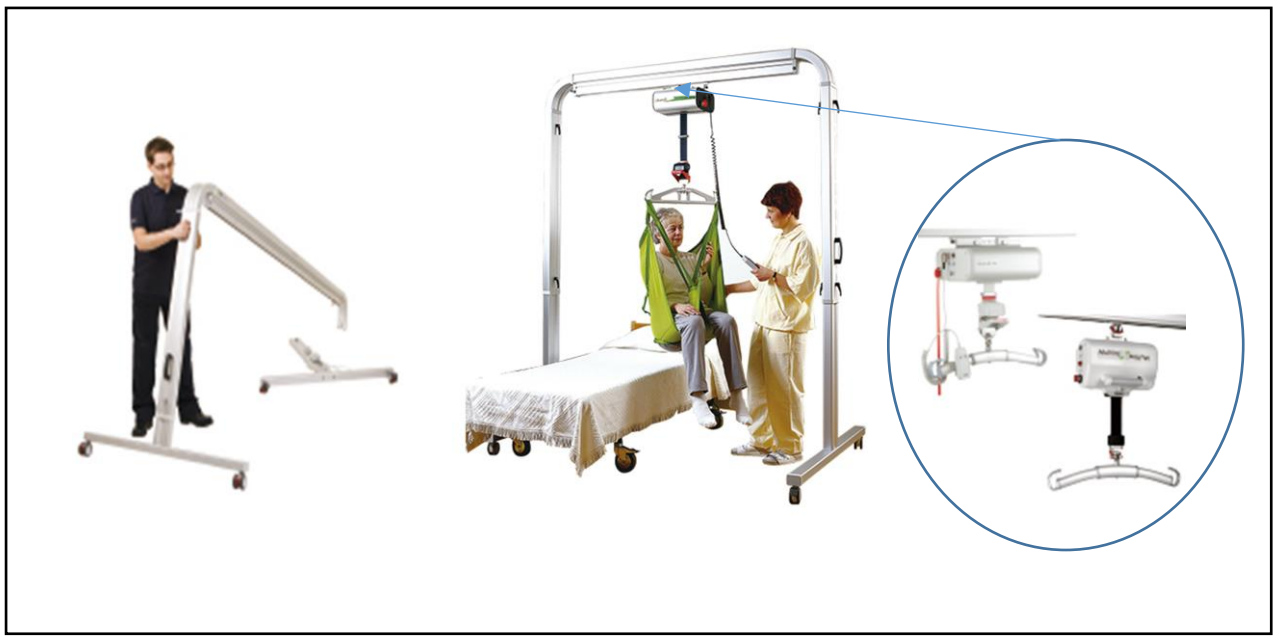
4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者の身体的負担軽減　■介護者の精神的負担軽減　■介護スタッフ間の連携強化
■被介護者の安全確保　■被介護者の QOL 向上　■被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
■人材育成・定着促進　■周辺業務の効率化・省力化　■業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　フリースパン

製品／サービスの URL：https://seahonence.co.jp/hp/lift/FreeSpan.html



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

工事不要な据置型１本レールのリフトです。ベッド⇔車椅子、ベッド⇔トイレ等の移乗をカバー可能。
キャスター付で、場所の移動が可能。レール長さは 1.5m～5.0m の中で 0.5m 刻みで選択可能（全８種類）
工事無で、使用方法が簡単な天井レールを必要な場所で設置可能です。レール高さは４段階で調整可能。
想定価格：オープン価格（レール長・ハンガーの種類が豊富な為、都度お見積もりを実施しております。）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） □ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・浴室で使用する場合は要相談が必要になります。
・使用するリフト本体はベルトでの垂直昇降なので、極端なベルトを斜めでの吊上げ禁止。
・設置部屋の大きさ、天井高さを事前に調べておく必要があります。(レール長さは調整できない為)

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： アビリティーズ・ケアネット株式会社 阪神営業所

企業 URL ： https://www.abilities.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
■食堂 ■多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ■リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
■リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

利用者の高齢化・重度化に伴う日中活動のマンネリ化。リハビリやレクリエーションに対する消極的な姿勢。	に対し、	日中活動を充実させ利用者の満足度を高める。感覚を刺激し訓練に応用できる。新たなレク活動・リハビリ機器として活用出来、楽しく能動的に取り組める。

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 ■被介護者の QOL 向上 ■被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：オミビスタ・ビスタ 3

製品／サービスの URL：https://www.abilities.jp/fukushi_kaigo_kiki/fukusiyougu/kinou_kunren/omi-vista （オミ・ビスタ）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



https://www.abilities.jp/fukushi_kaigo_kiki/fukusiyougu/kinou_kunren/omi-vista

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

・テーブルやフロア等へ映像を投影し、レクリエーション、リハビリ、脳トレ、感覚遊び等が行える機器です。
・動きに反応する映像と音による視覚・聴覚への感覚刺激により、楽しく能動的に取り組めます。

想定価格：1,970,000 円(税別) 法人向けの自費レンタルもあります。

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ■被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
■リハビリ利用者（集団） ■リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

テーブルやフロアへ映像を投影できる環境やスペースが必要。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：株式会社早稲田エルダリーヘルス事業団

企業 URL　：https://www.ayumieye.com/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

スタッフの業務負担・利用者の身体的負担がある体力測定	に対し、	大幅な工数削減と即座にフィードバックできる測定結果により利用者の意欲向上を

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：歩行解析デバイス AYUMI EYE

製品／サービスの URL：https://www.ayumieye.com/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://www.ayumieye.com/ayumi-eye_movie/

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

3 軸加速度センサーモジュールと iPad(iPhone)専用アプリを用いて、歩行時の加速度データに基づき歩行機能を「推進力」「バランス」「リズム」の 3 点から分析するデバイスです。
レンタル価格：月額 10,000 円（登録人数・測定回数の上限なし）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） ○□リハビリ利用者（個別）○ □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
○□被介護者の状態次第にて利用可能○ → 下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

歩行が可能な方（杖・歩行器等補助具利用者含む）

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・歩行機能を測定するため、車いすの方は対象外
・8~12m の直線歩行測定場所の確保

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社ワクレア

企業 URL　：　https://wacrea.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
☑リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

加齢によって可動域が狭まってしまい、リハビリがスムーズに進まないこと	に対し、	製品を装着する事で、神経がコンディショニングされ、四肢の可動域が広がり、動きをスムーズに

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　コロバニィリストバンド

製品／サービスの URL：　https://alles-inc.com/lp_colovany/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





メカニズムの説明動画　https://www.youtube.com/watch?v=NooVv4D6Sl4

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

複数の温泉鉱石とオーガニックなチャコールがブレンドされた特許機能素材を活用した製品です。（体幹重心安定効果　特許第 6802940 号）素材から発信される微弱な電磁波が神経の流通を亢進させ、筋肉の可動域を拡大し、動きをスムーズにします。 電源などは不要です。 想定価格：4,000 円（税込）

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア）　☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
☑リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

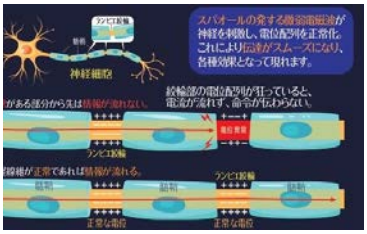
障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

コロバニィのメカニズムについて・・・コロバニィリストバンドには、腕に接する面に、特許取得（特許第 6802940 号）の機能素材「スパオール」がプリントされています。スパオールの発する微弱電磁波が神経を刺激し、電位配列を正常化します。これにより神経伝達がスムーズになり各種の効果となって現れます。



都立駒込病院脳神経外科部長　篠浦伸禎医学博士監修

「スパオール技術」は、脳や神経の専門医である篠浦博士監修のもと、製品開発を行っています。自律神経の変化や、その中枢である視床下部の状態などを確認しつつ、医学的見地から様々なアドバイスを頂いています。



篠浦伸禎医学博士　都立駒込病院脳神経外科部長

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



リハビリつかまり立ち改善 https://youtu.be/768KDycKZfc



高齢者の歩行改善 https://youtu.be/etRon1cGXT4

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：株式会社トータルブレインケア

企業 URL　：https://tbcare.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　☑多目的ホール（共有リビングスペース）　☑看護・介護ステーション　☑リハビリ室
□会議室　□事務室　☑送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

☑見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
☑リハビリ支援　□介護記録等　☑介護業務支援　□居室環境等管理支援　☑ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

被介護者の「その人らしい」暮らしの実現に向けた個別ケアの取組をどのように進めていくか決まっていない・わからない

に対し、

被介護者の個々の認知機能特性を可視化する事で職員全員の被介護者への理解が深まり、ケアがやりやすくなり、介護者の負担が減り結果として介護離職防止

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　☑介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

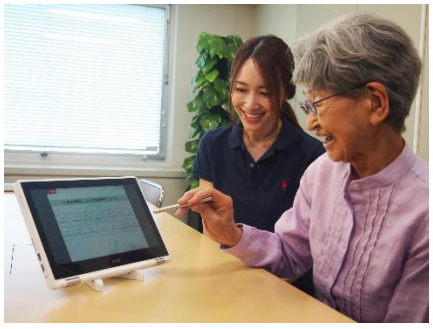
製品名／サービス名：脳体力トレーナーCogEvo（コグエボ）

製品／サービスの URL：　https://cog-evo.jp/

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://vimeo.com/734595315/a4246c4328







6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

CogEvo はタブレットパソコン等を活用したエビデンスのある認知機能評価ツールです。クラウドシステムなのでネット環境があれば屋内外を問わず利用できます。認知機能の「計画力」「記憶力」「空間認識力」「見当識」「注意力」を 5 種のタスクで評価し、数値データで確認できます。在宅向けの「おうちトレーナー」も搭載。利用人数・回数は無制限。法人登録費用（80,000 円/初回のみ）デバイス登録費用（20,000 円/1 デバイス初回のみ）月額利用料（15,000 円

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア） ☑被介護者（在宅ケア）
☑リハビリ利用者（集団） ☑リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定

☑要支援 1、2 ☑要介護 1 ☑要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

☑自立 ☑ランク J（生活自立） ☑ランク A（準寝たきり）
☑ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

☑自立 ☑ランクⅠ ☑ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

・被介護者は自立～要支援 2 程度の方まで
・介護者も自身の認知機能について知る事で被介護者への理解が深まり、コミュニケーションにも役立つ
・送迎ドライバーを含む職員様のヒヤリハット対策としても有効

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・ユニバーサルデザインで設計されているが、視覚障害のある場合は、画面を確認できないため操作が困難。
・安定したインターネット環境があれば、屋内外を問わず利用できる
・介護者の方、被介護者に限らず、認知機能＝認知症とネガティブに捉える方が多いので、使用する際にも認知症という言葉をできるだけ使わず、脳活、脳体力測定など前向きな言葉で後押しすることが望ましいと考えております

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）





神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：WALK-MATE LAB 株式会社

企業 URL　：　https://www.walkmate.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　■リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　■介護業務支援　□居室環境等管理支援　■ヘルスケア
■その他（　歩行リハビリの効果確認、歩行の状態の把握など　）

3 製品／サービスの特徴

歩行の歩幅、足上げの高さ、歩行速度、脚の振出方向、脚上げの方向など、これまで感覚的に確認していたもの	に対し、	歩行の一歩一歩を 3 次元軌道推定、腰の動きの推定の他、歩行の動画と連携してタブレット端末で確認、動画とも連携して確認

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　■被介護者の QOL 向上　■被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
■人材育成・定着促進　□周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

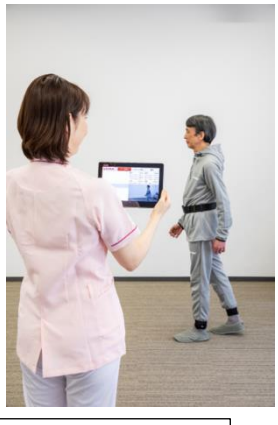
製品名／サービス名：　歩行分析計　WM GAIT CHECKER Pro

製品／サービスの URL：　https://www.walkmate.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください







・両足首と腰用の 3 つの加速度センターを専用ベルトで装着
・計測した歩行データを無線でタブレットへ送信
・タブレット内の専用ソフトで一歩一歩の歩行軌道および腰軌道を分析・表示

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

・ウエアラブルセンサーを用いて、一歩一歩の歩行の三次元軌道（矢状面、前額面、 水平面）と腰部の軌道を計測し分析
・歩行の左右差、過去あるいは他者との差異分析、歩行の動画と連携した確認が可能
想定価格：歩行分析の基本セットで１００万円（税別）、オプション機能は別途

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ■被介護者（施設ケア） ■被介護者（在宅ケア）
■リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
■被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） □ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ） □ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

歩行が出来る方が対象です
歩行に障害がある方の歩行リハビリを効果的に行うための歩行状態の確認・診断にお使い頂く機器です

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・歩行が出来る方が対象です。歩行に介助が必要な方は、介助者が歩行を解除し、介助者以外の方が計測を行う。
・水漏れ、結露、高湿度環境下での利用・保管は行わない（室内での利用とする）
・平面上での歩行を想定しているため、階段等段差のあるとこでは利用しない
・歩行を対象として分析計のため、ランニングやジャンプ等での利用では正しく計測できません

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：株式会社トータルブレインケア

企業 URL　：https://tbcare.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　☑多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　☑リハビリ室
☑会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
☑リハビリ支援　☑介護記録等　☑介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

1.認知機能別のトレーニング方法が分からない
2.体力測定の準備・計測・記録・管理は手順も多く、複数人の職員が長時間対応で負担大

に対し

1. CogEvo 連携システムで対応可能
2.センサーを用い、アナログで行っていた計測を自動化、簡素化し、スタッフ一人でも体力測定可能

とができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　☑介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：TANO（TANO　CHACK）

製品／サービスの URL：https://tanotech.jp/tano









URL　https://www.youtube.com/watch?v=YDr5VQyc4oo&t=5s

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

TANO はセンサーの前に立つだけで体がコントローラーとなり、150 種類以上の運動・発声・脳活性化プログラムを非接触・非装着・非対面で楽しくレーニング可能。CogEvo 連携システムで認知機能特性に合わせた運動プログラムも実施できる。TANOCHECK は厚生労働省が推進する「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」で、TANO を使用した介護施設での体力測定業務効率化に向けた実証事業から生まれた商品です。
販売価格：1,298,000/税込（TANO ソフトウェアライセンス WindowsPC,センサー,付属品一式）リース有

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
☑リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

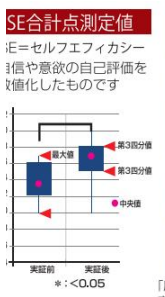
認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・インターネット環境が必要です
・特に制限はありません

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）





「厚生労働省 福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2016」
実証協力：社会福祉法人シルヴァーウィング



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社ケアコネクトジャパン

企業 URL　：　https://www.carekarte.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎　■その他（施設内全域　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
■その他（介護記録、請求管理システム　）

3 製品／サービスの特徴

CAREKARTE はさまざまな ICT 機器とつながり現場の記録からプラン・請求まで
介護事業所の運営をトータルにサポートする介護記録ソフトです。

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　■介護者の精神的負担軽減　■介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
■人材育成・定着促進　■周辺業務の効率化・省力化　■業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　CAREKARTE、ハナスト

製品／サービスの URL：https://www.carekarte.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



システム紹介：https://www.youtube.com/watch?v=hpOa-gkFJ28

ハナスト：https://hanasuto.carewiz.ai/

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

・記録管理、帳票管理、請求業務すべてを網羅。
・その中でも記録管理に特化しており、PC 入力だけではなく、タブレットやハナストでの音声記録作成も可能。
・パッケージのご提供になりますが、施設様の運用に合わせて記録内容や帳票をオリジナルの書式に変更可能。
・施設内にある様々な機器（ナースコールやベッドセンサー等）と柔軟に連携。
・特養 100 床の場合、初期費用が 250～300 万円程発生いたします。別途年間のクラウド利用料も発生いたします。金額についての詳細を希望される場合は別途お問い合わせ下さい。各種補助金の対象にもなります。

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア） ■介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） ■管理者（スタッフ管理） ■管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

介護システムになる為、使用上の制限はありません

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

介護機器ではありませんので、弊社導入事例の確認出来る URL を記載させて頂きます

https://www.carekarte.jp/usercasestudy/

※）本シートはワークショップに参加している介護事業者様へ配布させていただきます。A4 一枚に収まらなかった場合、超過したページは配布の対象外とさせていただきます。また、本プロジェクトの実績としてホームページや報告書等に引用させていただきますこと、あらかじめご了承願います。

ご協力ありがとうございました。以下のアドレスへご提出をお願いします。
提出は、Word 様式と PDF 様式にて提出してください。
提出期限 7/29（金）17:00　　提出先：noliftcare@gmail.com

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：SOMPO ケア株式会社

企業 URL　：https://www.setup-jp.com/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　☑多目的ホール（共有リビングスペース）　☑看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　☑事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　☑介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ご入居者様の援助記録	に対し、	介護実施記録の一元管理、記録された情報をグラフ等で可視化することにより、課題の早期発見を

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：SOMPO ケアレコード

製品／サービスの URL：https://corporate.sompocare.com/solution/service/system.html（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

※表示内容はイメージです。



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

□製品／サービスの概要
『SOMPO ケアレコード』は、iPhone 等のモバイル機器を活用し、ご利用者様の援助内容を記録するシステムです。
記録されたデータを元に、各種帳票を作成して紙で出力することも可能です。
※「AxistX」と連携することで作成した業務管理表を SOMPO ケアレコードに反映させることができます。
□想定価格(税別価格)

初期費用	月額費用
1 法人 1 事業所目　60,000 円	1 法人 1 事業所目　38,000 円
2 事業所目以降　35,000 円	2 事業所目以降　38,000 円

AxistX システム連携機能利用料
初期費用
1 法人 1 事業所目　100,000 円　2 事業所目以降　80,000 円
※お客様のご要望に応じて、別途導入研修メニューを用意しております
※ヘルプデスク費用は月額利用料金に含む

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）☑管理者（スタッフ管理）☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

□SOMPO ケアレコードの使用環境
iPhone アプリの利用は全館無線化が必要
※iPhone はお客様にて御用意いただく　当社からご提供は可能ですが一定の条件がございます。
※全館無線化（Wi-Fi）する工事などご相談可能
□SOMPO ケアレコードを使用する、パソコン、iPhone の推奨スペック
・パソコン推奨動作環境
OS：Windoes10
ブラウザ：Microsoft Edge(Chromium 版)IE モード固定
・iPhone 推奨動作環境
OS：iOS10 以降
ネットワーク接続：無線 LAN のみ

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：SOMPO ケア株式会社

企業 URL　　：老人ホーム・介護サービス｜【公式】SOMPO ケア（sompocare.com）　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　☑看護・介護ステーション　□リハビリ室
☑会議室　☑事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　☑介護記録等　☑介護業務支援　□居室環境等管理支援　☑ヘルスケア
☑その他（介護品質向上支援、ケアプラン立案・改定の支援、教育支援　など）

3 製品／サービスの特徴

見えにくい現場の介護業務 経験の少ない介護スタッフ、ケアマネ ノウハウの属人化	に対し、	介護を見える化して業務改善を支援 経験豊かなベテランスタッフの気付きを示唆 業務標準化を実現

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　☑介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

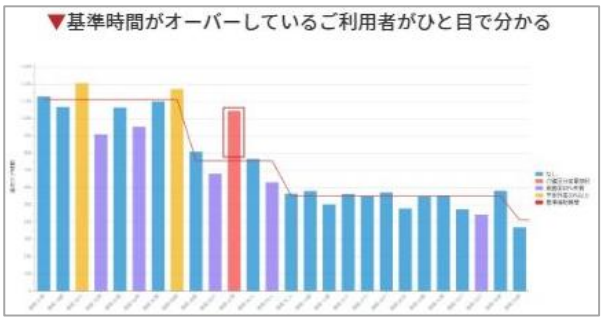
製品名／サービス名：介護 RDP（仮称）

製品／サービスの URL：介護の未来を変えていくデータプラットフォーム｜【公式】SOMPO ケア（sompocare.com）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

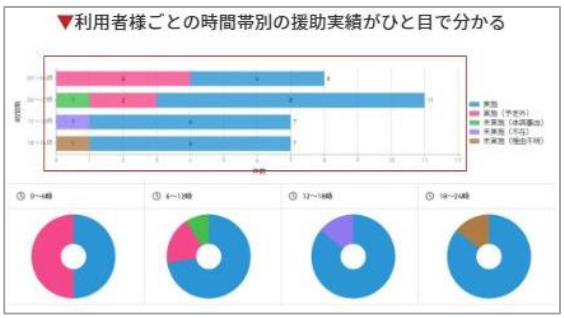
機能、使い方の一例

＊下記は、「CMC」の一部機能の模式図です。
＊表示グラフはダミーデータを利用したイメージです。



介護度に応じた基準時間と、実際にプランニングされている介助項目の総時間をグラフで表示

適切なプランへの見直し／介護度変更に活用



個々の利用者に設定された介助項目（プラン）を時間単位の棒グラフ、プランに対する実施・未実施など種別の占める割合を円グラフで表示

適切なプラン見直しに活用

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

□製品／サービスの概要

利用者：ありたい生活の継続・実現、体の負担の軽減、改善

職員：自立支援に向けた援助が可能になる。 これまで気付くことが難しかった利用者様の変化が掴める。

経営：職員のモチベーション向上による職場環境の改善（職員定着向上へ）、介護サービスの品質向上（アウトカムへの意識向上）、自立支援をサポートすることによる介護業務の最適化

□想定価格

未定（少額の初期投資で利用可能な商品体系を検討中）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）

□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） ☑管理者（スタッフ管理） ☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ

☑被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ

□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定

□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）

□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・現時点(2022/7/29)では開発段階であり、近々に販売開始予定。

・Wi-Fi、デジタル化されたデータなど IoT 環境の条件あり（別途相談可能）

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

NHK ワールド（2022 年 4 月 28 日放映）

介護 RDP（リアルデータプラットフォーム）～日本のより良い介護のためのデータ活用～

・リンク <https://www.youtube.com/watch?v=TMArLIHGW0Y>（日本語吹替え版）

・本動画は NHK ワールド JAPAN の番組で世界に向けて発信されました。



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：有限会社システムプラネット

企業 URL　：https://tiila.net/systemplanet/index.html　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　■ 看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　■ 事務室　□送迎車　□その他（　■ 自宅　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　■ 介護記録等　■ 介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　）

3 製品／サービスの特徴

現場の事務作業	に対し、	軽減	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　■ 周辺業務の効率化・省力化　■ 業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　楽々ケアクラウド

製品／サービスの URL：　https://sp.raku-care.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

20 年間介護保険携わる専門スタッフがつくった、クラウド型の介護保険請求システムです。
利用票・提供票の作成から、国保連請求・利用者請求を行います。計画書等も標準機能です。
①インターネットがあれば、どこからでも使用可能　②パソコン台数無制限　③システムから直接国保連へ伝送できます。
④バックアップ不要　⑤インストール作業不要
想定価格：1 事業所番号／1 サービスにつき（　伝送費用込　）6,500 円（税抜き）

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）■管理者（スタッフ管理）■管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク V

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

【 動作環境 】
・ブラウザ：Google Chrome、Firefox、Microsoft Edge
・必要ソフト：Microsoft Excel

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　　：SOMPO ケア株式会社

企業 URL　：https://www.setup-jp.com/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　☑事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　☑介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

ご入居者様の介助予定と 職員の業務予定の管理	に対し、	職員の業務の偏り、作業漏れを可視化、 最適な職員配置を

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

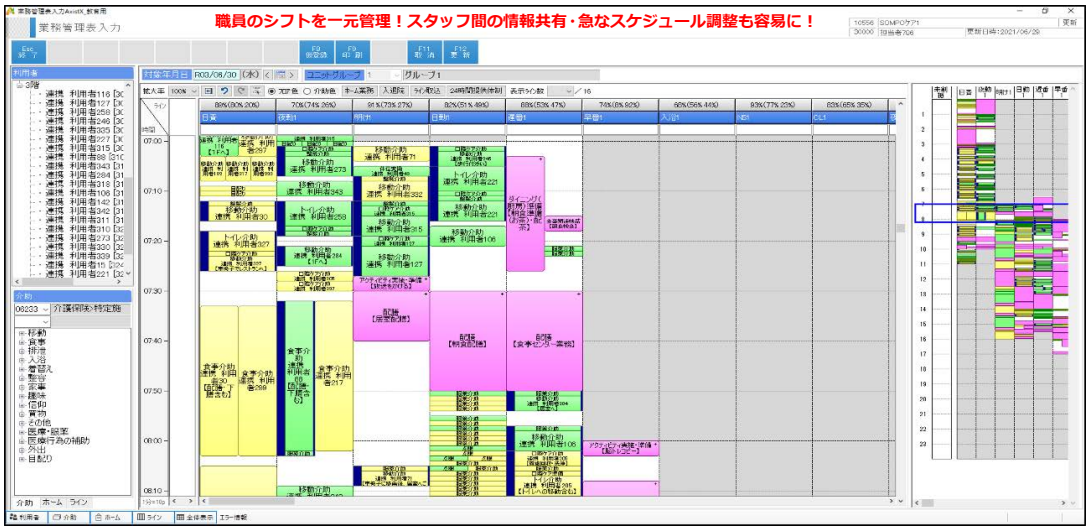
□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：AxistX（アクシストエックス）

製品／サービスの URL：https://corporate.sompocare.com/solution/service/system.html（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください　**※表示内容はダミーデータを利用したイメージです。**



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

□製品／サービスの概要
『AxistX』は、ご利用者様の介助予定と、スタッフの業務予定をまとめて管理できる「スケジュール管理システム」です。
ご利用者様の週間スケジュールを策定し、決められた介助を[業務管理表]に組み込むことでスタッフが当日何をすれば良いのかを可視化することができます。
※「SOMPO ケアレコード」と連携することで作成した業務管理表を反映し、介護実施記録を入力することができます。
□想定価格(税別)

初期費用	月額費用
1 法人 1 事業所目　100,000 円	1 法人 1 事業所目　70,000 円
2 事業所目以降　30,000 円	2 事業所目以降　30,000 円

※お客様のご要望に応じて、別途導入研修メニューを用意しております。
※ヘルプデスク費用は月額利用料金に含みます。
※ 3 年契約で、期間内で解約する場合は違約金が発生します。

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）☑管理者（スタッフ管理）☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク V

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

AxistX を使用する環境
グローバル IP アドレス（固定 IP アドレス）

AxistX を使用する、パソコンの推奨スペック
OS：Windoes10
ディスプレイ解像度：解像度 1280×1024 以上
CPU：Intel i5-5300U CPU @2.30GHz 以上
RAM：4.00GB 以上
HDD：10GB 以上の空き容量
その他：Microsoft .NET Framework 4.0 以上

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社 神戸デジタル・ラボ

企業 URL　：　https://www.kdl.co.jp/

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

◉居室　◉トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　◉多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

◉見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　◉介護記録等　◉介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

介護者	に対し、	被介護者の転倒や夜間起床、体温などをリアルタイムでお知らせ	することができる

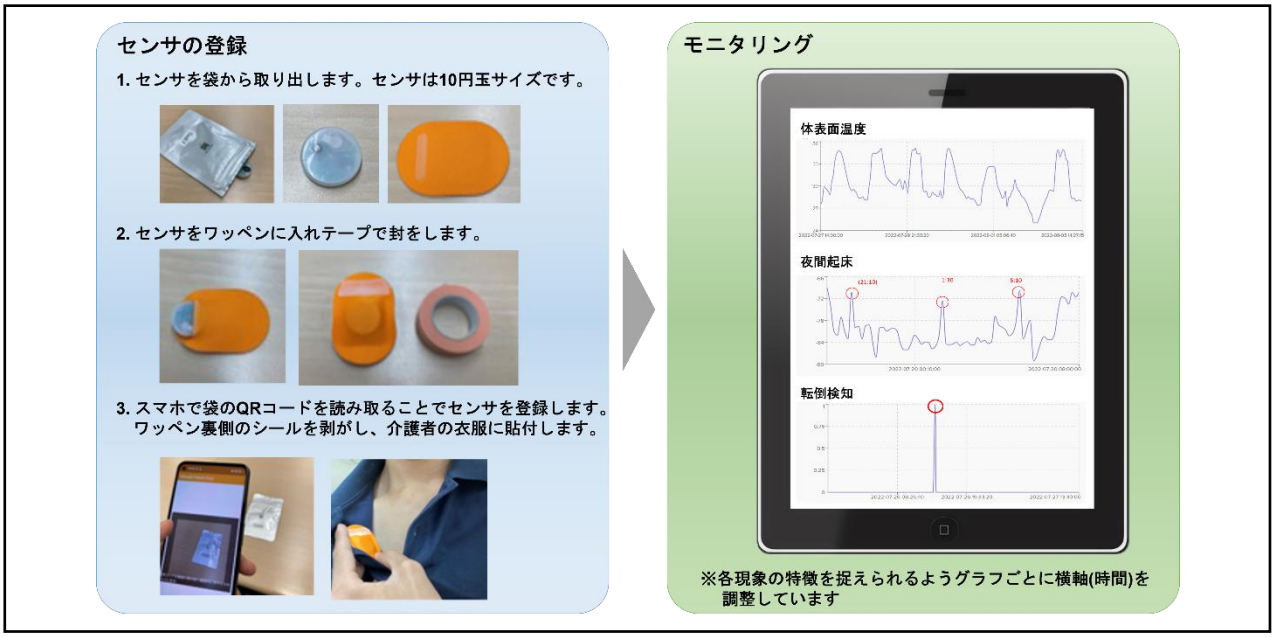
4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
◉被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　◉周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　マクセル 温度パッチセンサ／ 温度＋加速度検証プラットフォーム

製品／サービスの URL：　https://www.tinkermode.jp/interview/maxell



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

袋から取り出して体に貼り付け、クラウドやスマホに連携すればすぐに計測が開始されます。体表面温度や姿勢の変動を連続で測定し、クラウドを通してリアルタイムにモニタリングできるので、点だけの計測だけでは分からなかった様々な情報が得られます。リアルタイムでの健康管理だけではなく、異常の早期発見、調査研究、遠隔見守りにも役立てていただけます。また、使い捨てタイプなので衛生面でも安心して手軽に運用することができます。

想定価格：45 万円

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

◉介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） ◉被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
◉被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

<身体面>
・ 10 円玉サイズの小さなセンサを使用するため、被介護者の誤飲に注意が必要です。
<環境面>
・ 受信機を設置するため、施設内の電源をお借りします。
・ 受信機の通信範囲が 20m のため、範囲が 20m を超える施設においては受信機の数を増やして運用します。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社ＨＣＩ

企業 URL　：　https://www.hci-ltd.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
☑食堂　☑多目的ホール（共有リビングスペース）　☑看護・介護ステーション　☑リハビリ室
☑会議室　☑事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　☑介護業務支援　☑居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

人手による物品の運搬	に対し、	配膳ロボットにより人手をかけずに運搬	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　☑介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　配膳ロボット HolaBot

製品／サービスの URL：　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://www.youtube.com/watch?v=K_g1fvA5UJo&

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

機能：大容量の物品搬送、呼出機能付き下膳対応、防水構造
速度：0.5～1.2m/sec、 重量：60kg、 運転時間：約 10 時間、 充電時間：約 4.5 時間
負荷容量：60kg、最小通路幅 80m、最大登坂角度 5 度、最大乗り越え段差 2cm
想定価格：メーカー希望小売価格 280 万円(応談、買取りの他レンタル、リース等あり)

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）☑管理者（スタッフ管理）☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

清掃ロボットの状況をご説明のうえ、ご相談させて頂きます。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・屋内での使用のこと、 ・床面は平坦で、段差無きこと(実証検証要)

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）




神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社ＨＣＩ

企業 URL ： https://www.hci-ltd.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
☑食堂 ☑多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ☑リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 ☑介護業務支援 □居室環境等管理支援 ☑ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

人手による、物品の運搬や館内お知らせ	に対し、	配膳ロボットにより、人手をかけずに運搬、お知らせが実現	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 ☑介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 ☑被介護者の QOL 向上 ☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 ☑周辺業務の効率化・省力化 ☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： 配膳ロボット KettyBot

製品／サービスの URL： （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://www.youtube.com/watch?v=yXp6nEI9Fjc&t=3s

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

機能：物品の搬送、インテリジェントカラーディスプレイ、AI 音声対話(日本語は今年末)
速度：0.5～1.2m/sec、 重量：38kg、 運転時間：約 10 時間、 充電時間：約 4.5 時間
負荷容量：30kg、最小通路幅 55m、最大登坂角度 5 度、最大乗り越え段差 2cm
想定価格：メーカー希望小売価格 160 万円(応談、買取りの他レンタル、リース等あり)

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）☑管理者（スタッフ管理）☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

清掃ロボットの状況をご説明のうえ、ご相談させて頂きます。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・屋内での使用のこと、 ・床面は平坦で、段差無きこと(実証検証要)

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社ＨＣＩ

企業 URL ： https://www.hci-ltd.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
☑食堂 ☑多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ☑リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 ☑介護業務支援 □居室環境等管理支援 ☑ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

人手による物品の運搬	に対し、	配膳ロボットにより、人手をかけずに運搬が実現	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 ☑介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 ☑被介護者の QOL 向上 ☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 ☑周辺業務の効率化・省力化 ☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： 配膳ロボット BellaBot

製品／サービスの URL： （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://www.youtube.com/watch?v=S9yW7e2VjfI

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

機能：物品の搬送、多様なインタラクション、インテリジェントトレー
速度：0.5～1.2m/sec、 重量：57kg、 運転時間：約 10 時間、 充電時間：約 4.5 時間
負荷容量：40kg、最小通路幅 80cm、最大登坂角度 5 度、最大乗り越え段差 2cm
想定価格：メーカー希望小売価格 300 万円(応談、買取りの他レンタル、リース等あり)

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） ☑被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）☑リハビリ利用者（個別）☑管理者（スタッフ管理）☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

清掃ロボットの状況をご説明のうえ、ご相談させて頂きます。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・屋内での使用のこと、 ・床面は平坦で、段差無きこと(実証検証要)

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）





神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社ＨＣＩ

企業 URL ： https://www.hci-ltd.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
☑食堂 ☑多目的ホール（共有リビングスペース） ☑看護・介護ステーション ☑リハビリ室
☑会議室 ☑事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 ☑居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

従来人手に頼らざるを得なかった清掃作業	に対し、	掃除ロボットにより、人手を大幅に軽減した掃除を実現	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 ☑介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 ☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 ☑周辺業務の効率化・省力化 ☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： お掃除ロボット Pudu CC1

製品／サービスの URL： （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://www.youtube.com/watch?v=DpBQbWSvzsw

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

機能：清掃、ゴミ吸引、モップがけ、洗浄、 給排水：自動、 清掃幅：50cm、 洗浄幅：40cm、
速度：1.2m/sec、 重量：60kg、 運転時間：9 時間、 充電時間：3 時間(自動充電)

想定価格：メーカー希望小売価格 260 万円(応談、買取りの他レンタル、リース等あり)

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）☑管理者（スタッフ管理）☑管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

清掃ロボットの状況をご説明のうえ、ご相談させて頂きます。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

・屋内での使用のこと、 ・床面は平坦で、段差無きこと(実証検証要)

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： シーマン株式会社

企業 URL ： https://www.sheen-man.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
○食堂 ○多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ○リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
○その他（座位姿勢の補正支援）

3 製品／サービスの特徴

座位の不良姿勢	に対し、	両足の大腿部の下にフローボードオーバル XS サイズを差し込み、被介助者の膝を座奥方向へ押すことで座位姿勢を補正しやすく

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 ○介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保 ○被介護者の QOL 向上 ○被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 ○周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： フローボードオーバル XS サイズ （裏面に滑り止めテープは付いていません）

製品／サービスの URL：https://www.sheen-man.co.jp/product/product-cat05/flowboard_oval/

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



【座位の不良姿勢の補正の方法】
1. 両足の大腿部の下に 1 枚ずつ差し込む
2. 被介助者の両膝を同時に座奥方向に押す
3. 大腿部下の本製品を外側より引き抜く

https://youtu.be/71jXP_ZMBaM

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

座位姿勢の座り直しを補助します。
座位姿勢時の介護用リフトのスリングシート脚部を装着する補助に使用します。

想定価格：定価￥34,000（2 枚セット、税抜き）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） ○被介護者（施設ケア）○被介護者（在宅ケア）
□リハビリ用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 ○要介護 2 ○要介護 3 ○要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） ○ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
○自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

ポジショニング時には被介助者から目を離さないでください。
本製品は座位移乗には使用できません。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

座位姿勢時の、座奥への座り直しや介護用リフトのスリングシートの脚部装着に使用いたします。






神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　シーマン株式会社

企業 URL　：　https://www.sheen-man.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　○リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
○その他（　ベッド上のケア　）

3 製品／サービスの特徴

体位変換や寝位置の補正時に、都度、福祉用具を敷きこむケア	に対し、	本製品は、ケア毎の敷き込みが不要となるシーツで、身体への接触回数が少ないため、皮膚が脆弱、骨折しているなどデリケートなケアが必要な被介助者にも使用

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減　○介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保　○被介護者の QOL 向上　○被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　○周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　ポジショニングシーツ

製品／サービスの URL：https://www.sheen-man.co.jp/product/product-cat05/positioning_sheet/

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





寝位置の補正



体位変換

https://www.youtube.com/watch?v=qZ8nuQUoPGQ

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

本製品は、マットレスの上に敷いたまま使用する滑る機能を持つシーツで、ケア毎に被介助者の身体の下に敷きこむ必要がありません。身体に触れる回数を減らすことで、被介助者と介助者の身体的な負担を減らすケアを提供します。また、被介助者の表情が見える距離を保ったケアもサポートします。さらに、介護用リフトとの併用により、ベッド上のケアにも利用できます。想定価格:マットレスカバーロング+セカンドシーツ 4 方向ショートの組み合わせの定価¥48,000（税抜き）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア）○介護者（在宅ケア） ○被介護者（施設ケア）○被介護者（在宅ケア）
□リハビリ用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 ○要介護 2 ○要介護 3 ○要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） ○ランク A（準寝たきり）
○ランク B（寝たきり／座位保つ） ○ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

ポジショニング時や体位変換時には被介助者から目を離さないでください。被介助者がベッドから滑り落ちないようにご注意ください。介助者がベッド両脇にいない場合は、ベッドサイドレールを上げてください。
洗濯時の柔軟剤の使用は避けてください。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

介護用リフトを併用することで側臥位姿勢がリストにより保持されるため、介助者は一人でも両手を使ったおむつ交換や創傷ケアなどを実施しやすくなります。また端座位姿勢や寝位置の補正は、リフトの併用によっても支援できます。


おむつ交換・創傷ケア


寝位置の補正


端座位姿勢


体位変換

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： シーマン株式会社

企業 URL ： https://www.sheen-man.co.jp/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
○その他（避難搬送支援）

3 製品／サービスの特徴

自力避難ができない等、ベッド上で臥位姿勢の人を避難させる必要がある状況	に対し、	素早くかつシンプルな避難活動を支援

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者の身体的負担軽減 ○介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
○被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 ○周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： オプティマルエバックシート

製品／サービスの URL：https://www.sheen-man.co.jp/product/product-cat05/evacuation_sheet/

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



https://www.sheen-man.co.jp/product/product-cat05/evacuation_sheet/

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

素早くかつシンプルにベッド上で臥位の人を避難させることができます。
平時よりマットレスとベッドの間に敷いておき、緊急時は本製品のベルクロ付きストラップで掛布団ごと被介助者を固定し、短辺サイドに付いているハンドルを引っ張り、マットレスごと避難します。
想定価格：定価￥26,000（税抜き）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア）○介護者（在宅ケア） ○被介護者（施設ケア）○被介護者（在宅ケア）
□リハビリ用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 ○要介護 2 ○要介護 3 ○要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランクＪ（生活自立） □ランクＡ（準寝たきり）
○ランクＢ（寝たきり／座位保つ） ○ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
○自立 □ランクⅠ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

本製品を使用目的以外の方法に使用しないでください。
本製品でマットレスと被介助者を包み込み運ばないでください。
本製品は必ずマットレス下に装着し、単体では使用しないでください。
ご使用の際は、本製品をマットレスの下にセットし、ゴムバンドをマットレスの角に掛けてください。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

緊急避難時にベッド上で臥位姿勢の被介助者の避難搬送に使用します。


患者さんに声がけします


マットレスごと患者さんを引き下ろします


階段を降りる際は前向きで降ります

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： 株式会社タイカ

企業 URL ： https://taica.co.jp/pla/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 □多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション □リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
□その他（体位変換器・筋緊張の緩和 ）

3 製品／サービスの特徴

拘縮などにより安楽な姿勢ではないまたは床ずれリスクのある被介護者	に対し、	被介護者を安楽な姿勢、床ずれ発生リスクの軽減、介護者は楽に体位変換を

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 □介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保 □被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 □業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：ウェルピーHC

製品／サービスの URL： https://taica.co.jp/pla/product/wellpie_hc/

製品／サービスの写真・動画 ※1 機種の写真や動画 URL を載せてください



https://youtu.be/LITzQLJRRYQ

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

被介護者は安全に安楽な姿勢をとることができ、床ずれの発生リスクを軽減できる。
介護者は楽に体位変換をすることができる。
丸洗いができ高温乾燥が可能。・特殊加工のウレタンチップを使用し耐久性もアップし体にフィットして安定。
想定価格：￥6,600～￥28,600(税込)　※出張無料で使用方法などのセミナー開催しています。

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

○介護者（施設ケア）　○介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）　□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）　□リハビリ利用者（個別）　□管理者（スタッフ管理）　□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
○被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランクＪ（生活自立）　□ランクＡ（準寝たきり）
□ランクＢ（寝たきり／座位保つ）　□ランクＣ（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランクⅠ　□ランクⅡ（a・b）　□ランクⅢ（a・b）　□ランクⅣ　□ランクⅤ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

クッションを使ってのポジショニグの際は、グローブ等での圧抜きを推奨しています。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）





神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 ： プロジェクト イプシロン

企業 URL ： https://www.projectipsilon.com/ （ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

●居室 □トイレ □個浴 □個浴脱衣所 □特殊浴槽 □特殊浴槽脱衣所
□食堂 ●多目的ホール（共有リビングスペース） □看護・介護ステーション ●リハビリ室
□会議室 □事務室 □送迎車 □その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援 □移乗支援 □移動支援 □入浴支援 □排泄支援 □食事支援
□リハビリ支援 □介護記録等 □介護業務支援 □居室環境等管理支援 □ヘルスケア
●その他（ 認知機能の観察・モニタリング ）

3 製品／サービスの特徴

認知機能把握 医療従事者などの認知症テストを行える専門職の欠如 高齢者の認知症テストに対しての嫌悪感や拒否感	に対し	ルーティン的に認知機能の把握をする 医療従事者などの専門職が行う認知テストの補足をする ゲーム化された認知機能モニタリングアプリで嫌悪感や拒否感を軽減する

ことができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減 □介護者の精神的負担軽減 ●介護スタッフ間の連携強化
●被介護者の安全確保 ●被介護者の QOL 向上 □被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進 □周辺業務の効率化・省力化 ●業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名： イプシロン システム

製品／サービスの URL： https://www.projectipsilon.com/ リンクから日本語ページを選択して下さい









音楽の音符とピアノの模擬鍵盤を使用して反応時間と反応の正確さをパラメータ化し、独自のアルゴリズムで認知機能判定のスコアを算出します。 これまでの治験で、認知機能テストのゴールドスタンダードの一つのモントリオール認知テスト（MoCA テスト）との相関性が証明されております。 神戸大学認知予防センターとの治験を経、早期認知診断補助アプリとして医療認証申請を来年に予定しております。 現段階では認知機能モニタリングアプリとしてご提供させていただいております。

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

ゲーム化されたウェブアプリによる自宅および介護施設での認知機能のモニタリング、指先と手のリハビリを兼ねた脳トレ目的の使用。
在宅やデイケアでの常任医療スタッフの確保が難しい中での患者様の認知機能の維持や把握補助ツールとして、および介護施設の医療スタッフの負担を軽減する補助としての使用。 患者様の認知テストへの嫌悪感や拒否感の軽減、年に 1 度の認知症テストまでの認知機能の参考データとしても活用可能。 ウェブアプリなので機材を選ばず、Wifi が届く範囲でのフレキシブルな使用環境を実現。 アプリ内のテストは所要時間 5 分未満。 反復使用可で週 1―2 回使用推奨。 iPad ミニかそれ以上の大きさのタブレット端末の使用を推奨。 各患者様を登録し、厳密なヨーロッパ基準の個人情報管理を徹底したクラウドでのデータ管理で、各患者様の時間軸での認知機能の履歴も把握可能。 毎月の認知機能の各患者様のデータのまとめを施設様に送付。 当社独自のイプシロンスコアはモントリオール認知テストとの相関性。
想定価格：最低 10 人 3 カ月以上使用契約でユーザー各月額 2750 円、最低 50 人使用 1 年契約でユーザー各月額 2500 円、最低 7 5 人使用 1 年契約でユーザー各月額 2250 円 （交渉可） ＊本商品は認知症の診断をするものではございません。

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者（施設ケア） □介護者（在宅ケア） ●被介護者（施設ケア） ●被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） ●リハビリ利用者（個別） □管理者（スタッフ管理） □管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
●被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
●要支援 1、2 ●要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
●自立 ●ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
●自立 ●ランク Ⅰ □ランクⅡ（a・b） □ランクⅢ（a・b） □ランクⅣ □ランクⅤ

自社独自の分類

認知症発症前の状態での認知機能の定期的なモニタリング、特に認知症を発症しやすい持病がある被介護者(糖尿病、循環器疾患等)に推奨。
年に一度の認知症テストでは把握しきれない認知症リスクを早期に医療関係者への連携を可能とし、ケアと予防処置につなげ、患者様の QOL を保つのに役立てる。
当社独自の認知機能判定スコアはモントリオール認知テストとの高い相関性。 当社のスコア―1 から― 3 点は MCI のリスク高、及び認知症リスク高判定。

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

被介護者の簡易なタブレット操作能力必須、初期の認知症およびそれ以前の認知機能を有する。 介護者及び介護施設での担当者がそばで見守りながらゲームのログインなどの補助ができる。 Wifi 環境必須。 iPad ミニ同等及びそれ以上の大きさのタブレット端末が必要

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

5 番の写真等参照。 認知症予防で名高い「神戸モデル」にフィット。 当社のアプリを定期的に認知機能モニタリング目的で使用することにより、認知機能低下による認知症発症リスクを早期に発見、治療と予防に連携。 被介護者様の認知機能を常時把握することによって、長期的には介護・医療スタッフの負担軽減、患者様の QOL の維持、ケアコストの軽減などをリハビリやセラピーも含む早期治療と連携して可能としていくツール。 契約施設様のネットワーク内で 1 つ以上の立地での使用やデイケア、訪問介護先でもフレキシブルに使用可能。 契約は各被介護者様を登録し、厳密なデータ管理。 契約利用者数により、価格はフレキシブルに対応。 毎月、各登録患者様の認知機能データのまとめを契約施設様に送付。 各患者様の認知機能レベルの歴史が常時把握可能、治療やケアにも応用可能。 アプリの不具合などのアフターケアサービスも早期対応実績。 ゲーム化で認知症につきまとう悪いイメージを払拭を目指す。 医療面で神戸大学認知症予防センターと、予後(認知症発症リスク)の予知を可能とする人工知能を東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構との共同開発。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　有限会社システムプラネット

企業 URL　：　https://ict.sysplanet.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
☑食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　☑食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
☑その他（　服薬支援　）

3 製品／サービスの特徴

服薬時	に対し、	服薬漏れや薬の間違いを確認及びチェック	することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者の身体的負担軽減　☑介護者の精神的負担軽減　☑介護スタッフ間の連携強化
☑被介護者の安全確保　☑被介護者の QOL 向上　☑被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
☑人材育成・定着促進　☑周辺業務の効率化・省力化　☑業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　服薬支援システム「服やっくん」

製品／サービスの URL：https://nkz-system.com/fukuyakkun/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

https://www.youtube.com/embed/sQrwsYk6hp0



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

パソコンやモバイル端末とアプリケーションを用い、介護者、被介護者、服薬の QR コードを読み込み、誤薬や飲み忘れを防止する。

想定価格：初期導入費 30 万円～　月額費用 1 万円～

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

☑介護者（施設ケア）☑介護者（在宅ケア）　☑被介護者（施設ケア）☑被介護者（在宅ケア）
☐リハビリ利用者（集団）☐リハビリ利用者（個別）☐管理者（スタッフ管理）☐管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

☐想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
☑被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
☐被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定

☐要支援 1、2　☐要介護 1　☐要介護 2　☐要介護 3　☐要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

☐自立　☐ランク J（生活自立）　☐ランク A（準寝たきり）
☐ランク B（寝たきり／座位保つ）　☐ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

☐自立　☐ランク Ⅰ　☐ランク Ⅱ（a・b）　☐ランク Ⅲ（a・b）　☐ランク Ⅳ　☐ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

モバイル端末は Android8.0 以上推奨（カメラ機能必須）、iOS10 以上

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：株式会社エレクトロスイスジャパン

企業 URL　：https://www.electrosuisse.co.jp

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　□看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　□事務室　□送迎車　■その他（　限定せず　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　□介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
■その他（　限定せず　）

3 製品／サービスの特徴

施設または在宅の介護者、スタッフ管理または利用者管理を担う管理者	に対し、	ガイドライン整備、施設で必要とされる業務マニュアル等に対して助言や作成支援ができる

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　■介護スタッフ間の連携強化
■被介護者の安全確保　■被介護者の QOL 向上　■被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
■人材育成・定着促進　■周辺業務の効率化・省力化　■業務全体のマネージメント向上

製品名／サービス名：　コミュニケーション支援、文書化支援、人材育成支援

製品／サービスの URL：https://www.electrosuisse.co.jp/service.html

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

要望に応じてお見積もり

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア） ■介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア） □被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団） □リハビリ利用者（個別） ■管理者（スタッフ管理） ■管理者（利用者管理）

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

8 想定している被介護者の状況

該当なし

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

該当なし

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

・介護テクノロジー導入ガイドラインの評価、作成支援。
・施設内で用いる業務手順（マニュアル等）の評価、改善、作成支援。
・担当者の育成に用いる教材の評価、改善、作成支援。
・介護テクノロジー導入や育成に内包されるリスクの見える化、対策または予防策の文書化。
・介護者間コミュニケーション、介護者と非介護間コミュニケーションの質的向上のための指導。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社平プロモート

企業 URL　：　https://www.tairapromote.co.jp/　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　■看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　■事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　■介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

スタッフ間のケアのばらつき、新人教育等	に対し、	タブレットによる簡単操作で業務の手順書を作成し、共有

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　■周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　kupu（クプ）

製品／サービスの URL：　https://www.tairapromote.co.jp/kupu/kupu.html（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

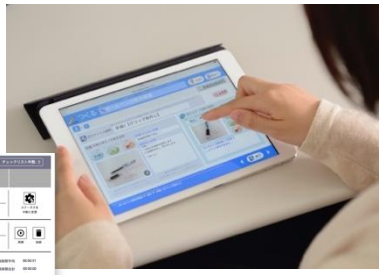
製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





タブレットで簡単操作

手順書を自分たちで手軽に作れます



新人教育や引き継ぎ資料に

kupu（クプ）は手順書などを気軽に作成して、皆で共有するためのクラウドサービスです。タブレットなどで普段の仕事の手順を記録して公開設定するだけ。「人によってやり方がバラバラ」「あの人じゃないと分からない」という状況を解消します。

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

Standard プラン：1,990 円/月～
（他 Light / Professional / Enterprise プランもあり）

想定価格：

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア） □被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能 →下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定
□要支援 1、2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立 □ランク J（生活自立） □ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ） □ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立 □ランク Ⅰ □ランク Ⅱ（a・b） □ランク Ⅲ（a・b） □ランク Ⅳ □ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

特になし。（ただしタブレットおよび Wi-Fi 環境が必要）

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。

神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト～未来の介護をクリエイト～

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名　：　株式会社 QuadLab

企業 URL　：　https://www.tairapromote.co.jp/QuadLab.html　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

※ A4 2 面（裏表）一枚に、1 機種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

□居室　□トイレ　□個浴　□個浴脱衣所　□特殊浴槽　□特殊浴槽脱衣所
□食堂　□多目的ホール（共有リビングスペース）　■看護・介護ステーション　□リハビリ室
□会議室　■事務室　□送迎車　□その他（　　）

2 製品／サービスの分類　下記の項目で、あてはまる主なものに 1 つに○をつけてください

□見守り支援　□移乗支援　□移動支援　□入浴支援　□排泄支援　□食事支援
□リハビリ支援　□介護記録等　■介護業務支援　□居室環境等管理支援　□ヘルスケア
□その他（　　）

3 製品／サービスの特徴

利用者のケアプラン検討	に対し、	健康状態だけでなく福祉機器の利用状況の推移をばらつきなく記録

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

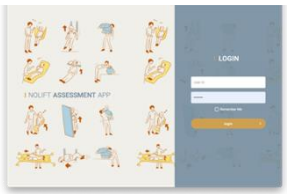
□介護者の身体的負担軽減　□介護者の精神的負担軽減　□介護スタッフ間の連携強化
□被介護者の安全確保　□被介護者の QOL 向上　□被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
□人材育成・定着促進　■周辺業務の効率化・省力化　□業務全体のマネージメント向上

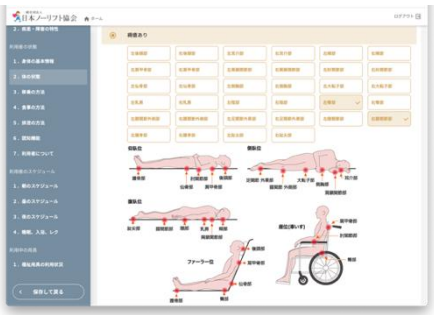
5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：　NO LIFT ASSESSMENT APP（ノーリフトアセスメントアプリ）

製品／サービスの URL：　（ハイパーリンクを挿入しておいてください）

製品／サービスの写真・動画　※1 機種の写真や動画 URL を載せてください





NO LIFT ASSESSMENT APP は、日本ノーリフト協会様と共同で開発したアセスメント用アプリです。タブレットなどで日々のケアに必要な項目をタブレット等で記録するだけ。利用者さんの状況をもれなく記録することで、ケアプランの検討にお役立ていただけます。

利用者さんの状態、施設の環境をそれぞれ入力し、日々のケアの管理にご活用いただきます。介護施設用に特化して入力項目をプリセットしているため、質の高いケアに必要な管理項目を網羅しております。紙の書類と違い作成が手軽で、入力のばらつきも減ります。またデータとして蓄積されるため、情報共有や二次利用などに優れております。

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

想定価格：

7 製品／サービスの主な対象者　下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

■介護者（施設ケア）□介護者（在宅ケア）　□被介護者（施設ケア）□被介護者（在宅ケア）
□リハビリ利用者（集団）□リハビリ利用者（個別）□管理者（スタッフ管理）□管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

□想定できていない・検討中　→　⑨ にすすむ
■被介護者の状態無関係に利用可能　→　⑨ にすすむ
□被介護者の状態次第にて利用可能　→下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度　要介護認定
□要支援 1、2　□要介護 1　□要介護 2　□要介護 3　□要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）　参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」
□自立　□ランク J（生活自立）　□ランク A（準寝たきり）
□ランク B（寝たきり／座位保つ）　□ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度　参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」
□自立　□ランク Ⅰ　□ランク Ⅱ（a・b）　□ランク Ⅲ（a・b）　□ランク Ⅳ　□ランク Ⅴ

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

特になし。（ただしタブレットおよび Wi-Fi 環境が必要）

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

※実際、施設等で使用されている様子の写真を載せてください。
ない場合は、⑤の掲載のみで、⑩は空欄としてください。⑤と⑩で重複した写真の掲載は不要です。